

図書館の自由

第 122 号 (2024 年 2 月)

日本図書館協会図書館の自由委員会

<もくじ>

1. 図書館の自由・表現の自由をめぐる記事紹介 1
 - ・リサイクル本からの利用者情報の流出
 - ・検閲／海外の禁書
 - ・図書館へのサイバー攻撃によるサービス停止とデータ流出
 - ・『あの子どもトランスジェンダーになった SNS で伝染する性転換ブームの悲劇』（KADOKAWA）の刊行中止
 - ・高松市図書館で相次ぐ蔵書破損
 - ・『帝国の慰安婦』をめぐる韓国大法院判決
 - ・映画「宮本から君へ」、最高裁にて公的助成金の不交付取り消し判決
 - ・権力とメディアの関係性をテーマとする映画「ヤジと民主主義」が公開
2. 新聞・雑誌記事スクラップ 8
3. 文献紹介 17
 - ・馬場俊明著『「読書の自由」を奪うのは誰か 「自由宣言」と蔵書選択』
4. おしらせ 20
 - ・図書館の自由展示パネル「なんでも読める 自由に読める!？」－2023 年 10 月改訂－利用案内 ほか
 - ・巻末：展示パネル解説リーフレット

1. 図書館の自由・表現の自由をめぐる記事紹介

○リサイクル本からの利用者情報の流出

2023 年 10 月 31 日、北九州市立中央図書館において、利用者の氏名が記載された旧式のブックカード(ニューアーク式カード)が残ったままの状態で見出され、リサイクル本が市民へ譲渡された可能性があることが発表された。同市内の小森江東小学校の図書館の廃棄資料が中央図書館のリサイクルフェアにて配布され、当日の午後、職員がカードの存在に気が付いたという。

学校図書館もようやくコンピュータ式での貸出が広がってきたが、カード式で貸出を行っていた頃の古いカードがそのままになっているケースは多いと言われている。古いカードが本の中に放置されるということは学校内で日常的にプライバシーの侵害が起きているということである。読書の自由を保障するためにも、古い資料の総点検と、それができるだけの専任・専門の職員の配置が必要だろう。

※関連記事

- ・「ブックリサイクル譲渡本に残っていた旧式ブックカードの回収について」『北九州市教育委員会』2023.10.31. <https://www.city.kitakyushu.lg.jp/files/001055146.pdf>
- ・「ブックリサイクル譲渡本に残っていた旧式ブックカードの回収について（お願い）」『北九州市立中央図書館』2023.10.31. <https://www.toshokan.city.kitakyushu.jp/branches/chuo/2023/10/post-60.html>
- ・「ブックカード残る本を数十冊譲渡か 市教委回収呼び掛け 北九州・中央図書館 /福岡」『毎日新

聞』 2023.11.01. <https://mainichi.jp/articles/20231101/ddl/k40/010/262000c>

○米国の禁書

アメリカでは学校図書館や公共図書館で LGBTQ や有色人種に関わる本を制限する動きが続いている。保守的な考えに反する内容の本を排除しようとする動きに、政治的な意図も関わっている。公共図書館が著者の姓がゲイという理由で絵本を審査対象リストに加え、物議を醸した。出版社が米国内における検閲や禁書の増加を受け禁書となったコンテンツを公開したり、米国デジタル公共図書館が禁書となったタイトルの電子書籍版を無料で提供する動きも出ている。子どもたちの読む自由が危うい状況にある。

※関連記事

- ・「児童向け絵本を「性的」審査の対象にした図書館、理由は著者の姓が『ゲイ』だから」『FRONTROW』 2023.10.26. <https://front-row.jp/ct/17663246>
- ・「SAGE 社、学問の自由や検閲に関する無料閲覧可能なコレクションを公開」『カレントアウェアネス-R』 2023.10.27. <https://current.ndl.go.jp/car/194678>
- ・「米国デジタル公共図書館 (DPLA)、“The Banned Book Club”の拡大に向けてシカゴ大学図書館と連携」『カレントアウェアネス-R』 2023.11.02. <https://current.ndl.go.jp/car/194947>
- ・堂本かおる「アメリカで LGBTQ や人種の本が続々禁書に 表現の自由はどこへ 違憲訴訟や対抗措置も」『GLOBE+』 2023.12.07. <https://globe.asahi.com/article/15076421>
- ・武田貴恵「「禁書」を子どもたちに配り回る？ アメリカのワゴンカー “Banned Wagon”」『IDEAS FOR GOOD』 2023.12.12. <https://ideasforgood.jp/2023/12/12/penguin-random-house/>
- ・「カナダにおける禁書を追跡する」(記事紹介)『カレントアウェアネス-R』 2023.12.14. <https://current.ndl.go.jp/car/202246>
- ・「ロシア人気作家の作品、出版停止 侵攻批判に締め付け強まる」『共同通信』 2023.12.17. <https://nordot.app/1109029187985588321>
[ロシアの出版大手 AST は 17 日までに、ウクライナ侵攻に関する不適切な発言があったとして作家 ボリス・アクーニン氏とドミトリー・ブイコフ氏の作品の出版を停止すると発表した。ロシア書籍販売大手のチタイ・ゴロドも両氏の作品の販売をやめ、店頭から回収すると決定した。タス通信などが伝えた。]
- ・「PEN America、2021 年から 2023 年の 2 年間の禁書に関するデータのまとめを公開」『カレントアウェアネス-R』 2023.12.21. <https://current.ndl.go.jp/car/202754>
- ・「米・EveryLibrary Institute、禁書に関する人口の属性等に関する報告書を公開」『カレントアウェアネス-R』 2024.01.29. <https://current.ndl.go.jp/car/209569>

○図書館へのサイバー攻撃によるサービス停止とデータ流出

サイバー攻撃によって図書館のシステムが機能しなくなり、サービスが停止したり、データが流出したりする事例が複数発生している。日本でも、2022 年 10 月に那覇市立図書館がサイバー攻撃を受け、全館において貸出・返却・予約等のシステムがすべて使用できない状態になった。最近では、カナダのトロント公共図書館、カナダのロンドン公共図書館、英国図書館などがサイバー攻撃を受けたと公表しており、サービスの一部が利用できなくなったほか、職員や利用者の情報が漏洩した可能性があるとしている。

※関連記事

- ・「カナダ・トロント公共図書館、サイバーセキュリティ上のインシデントが発生したと発表」『カレントアウェアネス-R』 2023.11.02. <https://current.ndl.go.jp/car/194942>
- ・「カナダ・トロント公共図書館、10 月 28 日に判明したサイバーセキュリティインシデントに関する情報を更新：現職員や元職員の個人情報等が盗まれた可能性」『カレントアウェアネス-R』 2023.11.15. <https://current.ndl.go.jp/car/195365>
- ・「英国図書館 (BL)、継続中のサイバーインシデントがランサムウェア攻撃によるものと発表：サービ

スの復旧には数週間かかる見込み」『カレントアウェアネス-R』2023. 11. 16.

<https://current.ndl.go.jp/car/195426>

・「英国図書館 (BL)、ランサムウェア攻撃により一部データの流出が確認されたと発表」『カレントアウェアネス-R』2023. 11. 24. <https://current.ndl.go.jp/car/197046>

・「英国図書館 (BL)、ランサムウェア攻撃により利用者データの一部が流出した可能性がある」と発表」『カレントアウェアネス-R』2023. 12. 06. <https://current.ndl.go.jp/car/201669>

・「カナダ・ロンドン公共図書館、サイバーインシデントにより大規模システム障害が発生」『カレントアウェアネス-R』2023. 12. 18. <https://current.ndl.go.jp/car/202485>

・「カナダ・ロンドン公共図書館、2023 年 12 月に発生したサイバーインシデントにより同館職員の個人情報にアクセスがあったと発表」『カレントアウェアネス-R』2024. 01. 11.

<https://current.ndl.go.jp/car/208635>

・「英国図書館 (BL)、検索可能なオンライン目録を公開：ランサムウェア攻撃による大規模障害への暫定対応として」『カレントアウェアネス-R』2024. 01. 16. <https://current.ndl.go.jp/car/208877>

○『あの子もトランスジェンダーになった SNS で伝染する性転換ブームの悲劇』(KADOKAWA) の刊行中止

出版社の KADOKAWA が、2024 年 1 月に発売を予定していた『あの子もトランスジェンダーになった SNS で伝染する性転換ブームの悲劇』の刊行を中止した。原書は 2020 年に米国で刊行され、トランスジェンダーになったことに対する本人の後悔や周囲の苦悩、後戻りのむずかしさなどを紹介している。KADOKAWA は刊行中止の理由として、「刊行の告知直後から、多くの方々より本書の内容および刊行の是非について様々なご意見」があったことを挙げ、「タイトルやキャッチコピーの内容により結果的に当事者の方を傷つけることとな」と謝罪している。

※関連記事

・株式会社 KADOKAWA 学芸ノンフィクション編集部「学芸ノンフィクション編集部よりお詫びとお知らせ」『KADOKAWA』2023. 12. 05. <https://www.kadokawa.co.jp/topics/10952/>

[来年 1 月 24 日の発売を予定しておりました書籍『あの子もトランスジェンダーになった SNS で伝染する性転換ブームの悲劇』の刊行を中止いたします。[略]]

・「KADOKAWA トランスジェンダー書籍 刊行中止に 著者「活動家主導のキャンペーンに屈した」」『産経新聞』2023. 12. 06. 12:25.

<https://www.sankei.com/article/20231206-5BXTYLSGFJDTFMFSJSTWITYOCQ/>

・「ジェンダー書籍、刊行中止 「当事者傷つけた」と版元」『産経新聞』2023. 12. 05. 22:36.

<https://www.sankei.com/article/20231205-NJJCLJVJBZM7DFWIWDSLTKUCUY/>

・「KADOKAWA 「LGBT 本」刊行中止の波紋 米国で 12 万部突破も「内容が問題視」一方で「表現の自由」の指摘も」『zakzak by 夕刊フジ』2023. 12. 06. 11:30.

<https://www.zakzak.co.jp/article/20231206-6S5QF2SBVBLTZBCQV2P5V4R7UE/>

・有本香の以読制毒「なんと恐ろしい「表現の自由」の危機 トランスジェンダー本が突如刊行中止、背景に LGBT 活動家からの「攻撃」か」『zakzak by 夕刊フジ』2023. 12. 08. 11:30. 06:30.

<https://www.zakzak.co.jp/article/20231208-QX67KMMPEJMVJNZBZSP2I5ZLRA/>

・皆川豪志 (編集長ピックアップ) 「「声の大きい人たち」の検閲を許してはいけない LGBT と移民問題はメディアの鬼門」『産経新聞』2023. 12. 10. 10:00.

<https://www.sankei.com/article/20231210-AGB5BA7R25DXXD27OFFYEUZRVY/>

・田中秀臣 (ニュース裏表) 「「キャンセルカルチャー」が民主的で自由な社会の脅威に トランスジェンダー本刊行中止事件、差別とまき散らし「害悪」とする不寛容さ」『zakzak by 夕刊フジ』2023. 12. 12. 06:30. <https://www.zakzak.co.jp/article/20231212-2FF3UTNGUNI2JG76MFUWXLJPXM/>

・「トランスジェンダー本「それでも出版すべきだった」 心理学者の見方」『毎日新聞』2023. 12. 12. 06:30. <https://mainichi.jp/articles/20231211/k00/00m/040/284000c>

- ・西山守「カドカワ本発売中止も…LGBTQ 炎上論争の現在地／2023 年の議論から展望する、日本の性的マイノリティ受容性」『東洋経済 ONLINE』2023.12.13. 14:05. <https://toyokeizai.net/articles/-/721090>
[沸騰する LGBTQ をめぐる議論／広告の世界でもさまざまな議論に／日本の広告ではパンテーン、ユニクロの事例が／現在の論点はどこにある？／日本は今後どう受容していくか]
- ・「KADOKAWA ジェンダー本を封殺したりバラル 政治学者・岩田温」『産経新聞』2023.12.24. 08:00.
<https://www.sankei.com/article/20231224-VBADO5EECRIIHCU3AXPEX5BLBU/>

○高松市図書館で相次ぐ蔵書破損

2022 年春以降、高松市の 2 つの図書館（高松市中央図書館、瓦町サテライト）で、蔵書のページを大量に破り取られる被害が相次いでいる。被害にあったのは主に有名作家の小説で、100 ページ以上破られたものもある。少なくとも 40 冊以上の蔵書が破られ、被害額は 7 万円に上る。図書館側では、館内で破られた可能性が高いとして、職員の巡回を強化したり警告文を掲示する対応をとっている。12 月 4 日付けで器物損壊容疑で警察に被害届も提出している。

※関連記事

- ・「図書館の本 30 冊破られる、高松 人気小説、被害届検討」『高知新聞+Plus』2023.11.15. 18:35.
<https://www.kochinews.co.jp/article/detail/696791>
- ・「「図書館の本」異例の被害相次ぐ、館内利用者が大量にページ破りか…結末読めないミステリー小説も」『読売新聞オンライン』2023.11.16. 13:29.
<https://www.yomiuri.co.jp/national/20231116-0YT1T50091/>
- ・「「東野圭吾」「宮部みゆき」人気作家の小説ばかり…図書館の本が“ビリビリ”に 防犯カメラに怪しい人物は確認されず」『FNN プライムオンライン』2023.11.21. 20:00.
<https://www.fnn.jp/articles/-/618790> <https://archive.is/RUSlc>
- ・「2 つの図書館で 40 冊の本が破られる被害 高松市」（香川 NEWS WEB）『NHK NEWS WEB』2023.11.22. 18:20. <https://www3.nhk.or.jp/lnews/takamatsu/20231122/8030017327.html>
- ・「図書館の本破損 被害届…高松市」『読売新聞オンライン』2023.12.09. 05:00.
<https://www.yomiuri.co.jp/local/kagawa/news/20231209-0YTNT50033/>

○『帝国の慰安婦』をめぐる韓国大法院判決

日本軍慰安婦被害者に対する名誉棄損罪に問われた『帝国の慰安婦』の著者、朴裕河（パク・ユハ）世宗大名誉教授の上告審判決が 10 月 26 日韓国大法院であった。韓国大法院はソウル高裁の有罪判決を「無罪の趣旨」により破棄し、ソウル高裁に審理を差し戻した。判決では、学問的表現物に対する評価は刑事処罰ではなく公開討論を通じて行われるべきと論じられ、韓国内で日韓の歴史問題を巡る議論が刑事事件に発展する事態の歯止めがかけられた。

※関連記事

- ・「制限されていた「学問の自由」が 8 年ぶりに解放された…韓国大法院、「帝国の慰安婦」朴裕河教授に無罪判断」『朝鮮日報』2023.10.27. 11:21.
https://www.chosunonline.com/site/data/html_dir/2023/10/27/2023102780012.html
- ・「韓国教授に「無罪」 最高裁、慰安婦著書巡り「表現の自由」強調」『産経新聞』2023.10.26. 19:33.
<https://www.sankei.com/article/20231026-XFC6WRQCINLXHKY4C5M7ZSWGHE/>
- ・「「帝国の慰安婦」著者、韓国最高裁が有罪判決を破棄…「無罪の趣旨」で審理差し戻し」『読売新聞オンライン』2023.10.26. 14:14. <https://www.yomiuri.co.jp/world/20231026-0YT1T50167/>
- ・「「帝国の慰安婦」著者の有罪判決を破棄 韓国最高裁 「無罪の趣旨」で差し戻し」『東京新聞 TOKYO Web』2023.10.26. 22:31. <https://www.tokyo-np.co.jp/article/286183>
[朴裕河氏「根本的には思想の自由を巡る判決だった」]
- ・「「慰安婦本」裁判、有罪判決破棄 韓国最高裁「無罪の趣旨」」『JIJI.COM』2023.10.26. 17:50.

<https://www.jiji.com/jc/article?k=2023102600197&g=soc>

- ・ 「「帝国の慰安婦」、名誉毀損認めず 韓国最高裁が著者の有罪判決破棄」 『朝日新聞デジタル』 2023.10.26. 19:00. <https://www.asahi.com/articles/ASRBV5SJ7RBRUHBIO5F.html>
- ・ 「「帝国の慰安婦」朴裕河氏、安堵の表情「正しい判決が出た」…仏像判決には韓国仏教界から反発も」 『読売新聞オンライン』 2023.10.27. 06:40.
<https://www.yomiuri.co.jp/world/20231027-0YT1T50122/>
[批判のタブー視 崩れた…静岡県立大・奥園秀樹教授 (現代韓国政治外交)]
- ・ (社説) 「「慰安婦」判決 学問の自由 守られた」 『朝日新聞デジタル』 2023.10.30. 05:00.
<https://www.asahi.com/articles/DA3S15779366.html>
- ・ (社説) 「韓国最高裁判決 対日改善が冷静な判断生んだ」 『読売新聞オンライン』 2023.11.02. 05:00.
<https://www.yomiuri.co.jp/editorial/20231101-0YT1T50347/>
- ・ 「「帝国の慰安婦」無罪判決を突き放す韓国メディアのロジック 根深い先入観「被害者をおとしめた」」 (特派員の眼) 『東京新聞 TOKYO Web』 2023.11.15. 17:00.
<https://www.tokyo-np.co.jp/article/289713>

○映画「宮本から君へ」、最高裁にて公的助成金の不交付取り消し判決

映画への公的助成金を、出演者の薬物事件を受けて「公益性」を理由に不交付としたことは適法か否かが問われていた裁判において、一審では不交付は違法、二審では不交付の判断は公益に合致する、と判決が分かれていたが、2023年11月17日、最高裁において、助成金不交付が取り消され、表現の自由を尊重する判決が出された。判決によると、「不交付が広がれば表現行為が萎縮する可能性があり、憲法21条が保障する表現の自由の趣旨に照らしても看過しがたい」とされている。図書館においても何らかの事件を犯した人物にかかわる資料が収集・提供されることもある。図書館の自由にも関連する重要な判決として受け止めたい。

※関連記事

- ・ 「ピエール瀧さん出演の映画が薬物事件で助成金「不交付」に…反発する表現者たち 最高裁が17日に判決」 『東京新聞 TOKYO Web』 2023.11.16. 06:00. <https://www.tokyo-np.co.jp/article/290167>
[不交付決めた芸文振「国が薬物使用に寛容と誤解される」／「芸術の独立性が担保される必要がある」／一審と二審で揺れた判断…「表現の自由」最高裁の考えは]
- ・ 「「宮本から君へ」助成金不交付、最高裁が取り消し 表現の自由を尊重」 『朝日新聞デジタル』 2023.11.17. 15:02. <https://www.asahi.com/articles/ASRCJ62RYRCHUTIL02R.html>
[薬物に寛容とのメッセージ…「想定しがたい」／慶応大の横大道聡教授 (憲法) の話]
- ・ 「映画の助成金取り消しは不当 最高裁 製作会社の訴え認める判決」 『NHK NEWS WEB』 2023.11.17. 18:43. <https://www3.nhk.or.jp/news/html/20231117/k10014261441000.html>
[製作会社側「映画表現の自由は守られた！」／弁護士「国が表現活動にどう向き合うのか画期的な判決」]
- ・ 「「多様な表現流通しやすく」 専門家、判決を評価—映画助成金訴訟」 『JIJI.COM』 2023.11.18. 07:15. <https://www.jiji.com/jc/article?k=2023111701215&g=soc>
- ・ (社説) 「映画助成金判決 国の文化支援を考える契機に」 『読売新聞オンライン』 2023.11.19. 05:00. <https://www.yomiuri.co.jp/editorial/20231118-0YT1T50189/>
- ・ (社説) 「芸術の公的助成 表現の自由 萎縮に警告」 『朝日新聞デジタル』 2023.11.20. 05:00. <https://www.asahi.com/articles/DA3S15796372.html>
- ・ (論説) 「映画助成で最高裁判決 表現の萎縮を重くみた」 『佐賀新聞』 2023.11.21. 05:15. <https://www.saga-s.co.jp/articles/-/1146460>
- ・ (社説) 「助成金の不交付「違法」 表現の萎縮許さぬ判決だ」 『中国新聞デジタル』 2023.11.21. <https://www.chugoku-np.co.jp/articles/-/387776>
- ・ (論説) 「映画助成で最高裁判決 表現の萎縮を重くみた」 『大分合同新聞』 2023.11.22. 03:00.

- <https://www.oita-press.co.jp/1042000000/2042002000/2023/11/JDC2023112100279>
- ・ (主張) 「「表現の自由」 守り抜く足場に 映画公的助成判決」 『しんぶん赤旗』 2023. 11. 21.
https://www.jcp.or.jp/akahata/aik23/2023-11-21/2023112102_01_0.html
[「公益」の乱用に歯止め／萎縮のない創造活動を]
 - ・ (社説) 「映画助成金判決 「公益」の乱用を戒めた」 『京都新聞』 2023. 11. 22. 16:00.
<https://www.kyoto-np.co.jp/articles/-/1151838>
 - ・ (論説) 「[映画助成で最高裁判決] 「表現の自由」 重さを再確認」 『さんにち Eye 山梨日日新聞電子版』 2023. 11. 24. 06:54. <https://www.sannichi.co.jp/article/2023/11/24/00698940>
 - ・ (社説) 「映画助成金の判決 不祥事対応考える糸口に」 『山陽新聞デジタル』 2023. 11. 25. 08:00.
<https://www.sanyonews.jp/article/1481556>
 - ・ (社説) 「映画助成金判決 製作現場の萎縮招く運用戒めた」 『愛媛新聞 ONLINE』 2023. 11. 25.
<https://www.ehime-np.co.jp/article/news202311250009>
 - ・ 「『宮本から君へ』 事件、もしも映画会社の敗訴だったら「この国の将来が危うかった」 原告代理人が語る最高裁「逆転判決」の意義」 『弁護士ドットコムニュース』 2023. 12. 02.
https://www.bengo4.com/c_18/n_16843/
 - ・ (社説) 「芸術と公的助成 萎縮させず自由の尊重を」 『西日本新聞 me』 2023. 12. 08.
<https://www.nishinippon.co.jp/item/n/1154901/>
 - ・ 「「公益」に歯止め、表現の自由の範囲は 「宮本から君へ」 助成金巡る最高裁判決」 『朝日新聞デジタル』 2023. 12. 19. 05:00. <https://www.asahi.com/articles/DA3S15819974.html>
 - ・ 「表現の自由どこまで OK? 画期的判決が問うた「世論の空気と公益、」 『朝日新聞デジタル』 2023. 12. 19. 06:30. <https://www.asahi.com/articles/ASRDL5RC7RDJULZU001.html>
 - ・ 勝田友巳「「宮本から君へ」 助成金訴訟判決 「萎縮の連鎖断ち切った」 深田晃司監督 多様な表現に助成必要」 『ひとシネマ』 2023. 12. 23.
<https://hitocinema.mainichi.jp/article/miyamotokarakimie-trial-interview-fukadakouji>
[公的支援どうあるべきか議論可視化／芸文振が国と一体に違和感／誰もが表現の当事者に／韓国、フランスでも議論重ね／作り手は表現に責任負う]
 - ・ (社説) 「映画の助成金判決 表現の自由、抑圧への警鐘だ」 『河北新報 ONLINE』 2023. 12. 30.
<https://kahoku.news/articles/20231230khn000020.html>
 - ・ 「映画の助成金不交付の決定の取り消しを求めた裁判で、最高裁で逆転勝訴できた理由を解説 1/29 (月) 「エンターテインメントロイヤー&プロデューサー・四宮隆史先生と考える判例研究」 『PR TIMES』 2024. 01. 16. 19:30. <https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000003278.000003670.html>
 - ・ (耕論) 「文化芸術と公的支援 山崎友也さん、深田晃司さん、河島伸子さん」 『朝日新聞デジタル』 2024. 01. 31. 05:00. <https://www.asahi.com/articles/DA3S15852119.html>
[不交付は表現規制の危険 山崎友也さん(憲法学者)／権力と距離を保ち自由に 深田晃司さん(映画監督)／制作側も積極的な説明を 河島伸子さん(文化政策研究者)]
 - ・ 「表現規制の現代的なカタチ 映画「宮本から君へ」の助成金不交付問題」 『朝日新聞デジタル』 2024. 01. 31. 06:00. <https://www.asahi.com/articles/ASS1Y5DCMS15UPQJ008.html>
「憲法学者の山崎友也・金沢大学教授に聞きました。／抽象的な「公益」 芸術性否定の危うさ／表現の自由を重視し、歯止めをかけた最高裁]
 - ・ 「映画は世界を映す「窓」 民主主義支える助成の意味 深田晃司さん」 『朝日新聞デジタル』 2024. 01. 31. 06:00. <https://www.asahi.com/articles/ASS1Y5STJS1TUPQJ00C.html>
 - ・ 「「宮本から君へ」 助成金不交付 恣意的裁量の余地を広げないためには」 『朝日新聞デジタル』 2024. 01. 31. 06:00. <https://www.asahi.com/articles/ASS1Y572GS1LUPQJ00H.html>
[文化政策研究者の河島伸子・同志社大学教授に支援のあり方について聞いた。／公的支援のあり方とは／制作側に求められる積極的説明]

○権力とメディアの関係性をテーマとする映画「ヤジと民主主義」が公開

2019 年夏の参院選において街頭演説する安倍晋三首相(当時)にヤジを飛ばした市民らが北海道警の警察官に排除された問題の背景に迫るドキュメンタリー映画「ヤジと民主主義劇場拡大版」が 2023 年 12 月から全国公開された。2019 年は、あいちトリエンナーレの「表現の不自由展その後」展をめぐる抗議や、映画『主戦場』の上映が妨害されて中止に追い込まれたりするなど、表現の自由をめぐる課題が浮上していた時期である。映画の中で語られる「権力者がメディアを恐れなくなっている」というメッセージは、図書館の自由をめぐる状況にも通底するものだろう。

※関連記事

- ・伊藤智永(主張)「ヤジと民主主義」『毎日新聞』2023.11.18.
<https://mainichi.jp/articles/20231118/dm/002/070/152000c>
- ・「「映画『劇場版 ヤジと民主主義』、全国公開を前に本拠地・札幌での舞台挨拶&ティーチイン実施!」『Rooftop』2023.11.21. <https://rooftop1976.com/report/2023/11/21142050.php>
[排除された「小さな声」は何を暴いたのか? / 『ヤジと民主主義 劇場拡大版』札幌凱旋舞台挨拶 / ジャーナリスト・青木理×山崎裕侍監督による日本記者クラブ会見の様子が公開]
- ・「映画「ヤジと民主主義」「表現の自由」考える HBC 製作 9 日から札幌で上映 / 北海道」『毎日新聞』2023.12.02. <https://mainichi.jp/articles/20231202/ddl/k01/200/072000c>
- ・「ヤジ排除問題を問うドキュメンタリー 9 日、中野などで公開」『東京新聞 TOKYO Web』2023.12.07.
<https://www.tokyo-np.co.jp/article/294524>
- ・「道警ヤジ「この国に地下水脈のように流れる問題」映画監督が語る本質」『朝日新聞デジタル』2023.12.07. <https://www.asahi.com/articles/ASRD65JHXRC9IIE00J.html>
- ・「「安倍やめろ!」ヤジを飛ばした市民を報道陣の目の前で排除 「権力はメディアを恐れなくなった」山崎裕侍監督の危機感」『弁護士ドットコムニュース』2023.12.08.
<https://www.bengo4.com/c/18/n/16853/>
- ・熊野雅恵「映画『ヤジと民主主義』…本当の民主主義の実現のために「ヤジ排除訴訟」から考える「行政権」との向き合い方」『現代ビジネス』2023.12.09. <https://gendai.media/articles/-/120506>
- ・「『ヤジと民主主義 劇場拡大版』山崎裕侍監督インタビュー「私たちの社会に生じている分断と排除を考えるきっかけに」」『ガジェット通信』2023.12.12. <https://getnews.jp/archives/3468187>
- ・「ヤジ排除「社会主義国のような出来事が地元で…」地方のテレビ局が訴えたいこと」『FRIDAY DIGITAL』2023.12.17. <https://friday.kodansha.co.jp/article/348713>
- ・「ヤジと民主主義 劇場拡大版 表現の自由求め 多角的に取材」『西日本新聞 me』2023.12.23. 14:30.
<https://www.nishinippon.co.jp/item/n/1160646/>
- ・(耕論)「公安警察、暴走の背景 青木理さん、若狭勝さん、山崎裕侍さん」『朝日新聞デジタル』2023.12.29. 05:00. <https://digital.asahi.com/articles/DA3S15828155.html>
[政治権力との危うい蜜月 青木理さん(ジャーナリスト) / 見込み捜査と立件、検証を 若狭勝さん(元東京地検公安部長、弁護士) / ヤジ排除、表現の自由侵害 山崎裕侍さん(映画「ヤジと民主主義 劇場拡大版」監督)]
- ・「ヤジ飛ばす市民が警察官に囲まれ 排除の瞬間が捉えた公安警察の暴走」『朝日新聞デジタル』2023.12.31. 11:30. <https://www.asahi.com/articles/ASRDT5R4QRDPUPQJ00P.html>
[映画「ヤジと民主主義 劇場拡大版」をつくった北海道放送(HBC)報道部デスクの山崎裕侍(ゆうじ)さんに聞いた。]
- ・「ヤジ排除の先の社会、問いかける 映画「ヤジと民主主義」、長野県内でも上映」『信濃毎日新聞デジタル』2024.01.07. 17:08. <https://www.shinmai.co.jp/news/article/CNTS2024010700391>
- ・「「ヤジ排除問題」から考える“表現の自由” ドキュメンタリー映画「ヤジと民主主義」 宮崎キネマ館で 2 日から上映」『TBS NEWS DIG』2024.02.01. 19:10. <https://newsdig.tbs.co.jp/articles/-/975989>

2. 新聞・雑誌記事スクラップ

(雑誌、新聞の別に日付順に配列。テーマにより適宜まとめている。有料会員限定記事や公開期間経過によるリンク切れの記事もあるが、見出し情報としてそのまま掲載した。)

2023 年 10 月まで

- ・千錫烈「千代田区立千代田図書館における入館禁止処分事件についての考察：図書館の利用の自由を手掛かりとして」『関東学院大学人文科学研究報』第 46 号, 2023.02, p.9-41
- ・山本順一「図書館の生態系 (18) 「明日のハナコ」事件を通して分かる、この国の「演劇」教育のレベル—政治、強者にひざまづく福井県の演劇教育」『みんなの図書館』no.545, 2022.09, p.49-67.
- ・山本順一「図書館の生態系 (19) 日本の公共図書館という職場を熟視・熟考してみよう—土岐市図書館入館・利用禁止処分取消請求訴訟を手掛かりとして」『みんなの図書館』no.547, 2022.11, p.74-93.
- ・山本順一「図書館の生態系 (21) 文部科学省が都道府県・国立大学法人等に対して「拉致問題に関する図書等の充実に係る協力」依頼の事務連絡を発出した…—この国の政府、国家行政に関わる組織とそこで働く人たちの精神病理」『みんなの図書館』no.551, 2023.03, p.54-74.
- ・「「表現の自由を妨げた」…規則違反の「座り込み」で注意された反原発市民団体が県に抗議、行政指導の無効求める」『南日本新聞』2023.10.21. 11:11. <https://373news.com/news/storyid/184035/>
[九州電力川内原発 1、2 号機 (鹿児島県薩摩川内市) の運転延長の是非を問う県民投票条例制定を本請求した市民団体「川内原発 20 年延長を問う県民投票の会」の有志は 20 日、条例制定を求め実施した座り込みに対する県の行政指導に抗議する要請書を県に提出した。]
- ・「石原慎太郎都政の「日の丸・君が代強制」から 20 年 「モノ言えぬ」教育現場に人は集まるのか」『東京新聞 TOKYO Web』2023.10.24. 12:00. <https://www.tokyo-np.co.jp/article/285542>
[多様な意見表明が許されなくては/教員不足なのに再任用打ち切られ/国際機関に勧告されても強硬姿勢/24 年度の教員採用、倍率は過去最低に]
- ・「日本学術会議の会員候補、菅前首相が拒否した 6 人の名前開示…「外すべき者」と文書に手書き」『読売新聞オンライン』2023.10.24. 05:00. <https://www.yomiuri.co.jp/science/20231024-OYT1T50065/>

日本新聞協会／生成 AI 対策

- ・「新聞協会、著作権法の早期改正求める…生成 AI「知る権利」を阻害」『読売新聞オンライン』2023.10.30. 23:53. <https://www.yomiuri.co.jp/national/20231030-OYT1T50248/>
- ・「AI 対策に著作権法改正を 新聞協会／コンテンツへのタダ乗り防止」『日本経済新聞』2023.10.30. 16:00. <https://www.nikkei.com/article/DGXZQQUA26BA20W3A021C2000000/>
- ・「生成 AI に関する基本的な考え方」『一般社団法人日本新聞協会』2023.10.30. https://www.pressnet.or.jp/statement/broadcasting/231030_15193.html
- ・「AI 時代における知的財産権に関する意見」一般社団法人日本新聞協会 2023.11.02. https://www.pressnet.or.jp/statement/20231106_1.pdf

2023 年 11 月

- ・松井正英 (こらむ図書館の自由) 「個人情報保護法制の一元化と図書館」『図書館雑誌』vol.117, no.11, 2023.11, p.679. <https://www.jla.or.jp/committees/jiyu/tabid/640/default.aspx#202311>
- ・「慰安婦像、スペイン「お騒がせ芸術」の殿堂に あいちトリエンナーレ騒動から 4 年」『産経新聞』2023.11.10. 08:47. <https://www.sankei.com/article/20231110-TSYBDU7ZXVMJHLUPSLBV2XR70M/>
- ・「サイバー被害防止へ、匿名で情報共有 経産省が新指針」『日本経済新聞』2023.11.21. 19:41. <https://www.nikkei.com/article/DGXZQQUA207J60Q3A121C2000000/>
- ・「図書館システム改ざん、上限超え CD 借りる 49 歳課長補佐を懲戒戒告 大阪・八尾市教委」『産経新聞』2023.11.21. 21:21. <https://www.sankei.com/article/20231121-7EEC6JVNNBN3RAQIFXLLQFIZDI/>
- ・高橋ユキ「匿名化が損なわせる情報の信頼性—実名と匿名のはざままで」(前略、堀の上より 7) 『web ゲンロン』2023.11.24. https://webgenron.com/articles/article20231124_01

- ・「副学長の論文に「自己盗用」疑い 京都工繊大が調査委を設置」『毎日新聞』2023.11.25.
<https://mainichi.jp/articles/20231125/dm/012/040/075000c>
- ・「文化省、映画とゲームの政府検閲を廃止へ」『NNA ASIA』2023.11.28.
<https://www.nna.jp/news/2596115>
[タイ文化省、業界による自主規制を導入する計画]

情報公開制度

- ・「情報公開した訴訟資料のコピー不可、審査会が「違法」と判断…北海道は一転して複写を提供へ」『読売新聞オンライン』2023.11.15. 07:20. <https://www.yomiuri.co.jp/national/20231115-OYT1T50048/>
[条例に基づく情報公開制度は裁判所の閲覧制度と「理念が異なる」]
- ・「訴訟記録のコピー不可は「違法」 道の情報公開で審査会が指摘」『北海道新聞』2023.11.15. 19:06.
<https://www.hokkaido-np.co.jp/article/941031/>

個人情報の保護／利用／流出

- ・「繰り返される個人情報の不正流出 助長する名簿売買に打つ手は?」『毎日新聞』2023.11.02. 08:00.
<https://mainichi.jp/articles/20231031/k00/00m/040/204000c>
- ・「メタの一部広告表示を禁止 欧州データ保護当局」『千葉日報』2023.11.02. 21:58.
<https://www.chibanippo.co.jp/newspack/20231102/1126056>
- ・「EU 当局、メタの追跡型広告を禁止 個人データ利用問題視」『日本経済新聞』2023.11.02. 19:59.
<https://www.nikkei.com/article/DGXZQ0GR020X00S3A101C2000000/>
- ・「ネット上のプライバシーどう守る 小泉進次郎氏ら超党派の議連発足」『朝日新聞デジタル』2023.11.03. 08:30. <https://www.asahi.com/articles/ASRC262S0RC2UTFK016.html>
- ・「個人情報流出「名簿屋」助長 特殊詐欺・闇バイトに悪用も」『毎日新聞』2023.11.05.
<https://mainichi.jp/articles/20231105/dm/041/040/104000c>
- ・「情報流出、管理責任も 個人情報保護法で摘発続く 四谷大塚など 「被害」企業に両罰規定」『日本経済新聞』2023.11.06. 02:00. <https://www.nikkei.com/article/DGKZZ075803890S3A101C2TCJ000/>
- ・「ネット上の「忘れられる権利」と表現の自由のバランスとは」『Forbes JAPAN』2023.11.09.
<https://forbesjapan.com/articles/detail/67142>
- ・「捜査書類、住所不記載に 被害者保護、最高検通知」『共同通信』2023.11.15.
<https://nordot.app/1097268692249248662?c=302675738515047521>
- ・(社説)「EU がメタの広告規制 「無料」の代価を考えたい」『毎日新聞』2023.11.19.
<https://mainichi.jp/articles/20231119/dm/005/070/079000c>
- ・「企業の顧客データ取引所 商品購入や位置情報、100 社で」『日本経済新聞』2023.11.19. 20:30.
<https://www.nikkei.com/article/DGXZQ0UC168V50W3A111C2000000/>
- ・(不死鳥)「個人情報」『中日新聞』2023.11.20. 05:05. <https://www.chunichi.co.jp/article/809704>
[高浜町元助役の森山栄治氏(故人)から県幹部らが金品を受け取ったことをまとめた県の調査報告書の情報公開を巡り、県が個人情報として一部資料を不開示にしたことを、福井地裁に続き名古屋高裁金沢支部も違法とした。]

個人情報の利用／マイナンバーカード

- ・「マイナ漏洩問題、再発防止策報告 デジ庁、個情委に」『朝日新聞デジタル』2023.11.01. 05:00.
<https://www.asahi.com/articles/DA3S15781496.html>
- ・「マイナンバーカードに `空き容量、があるって知ってた? 図書館から路線バスまで活用領域が拡大中」『@DIME』2023.11.04. <https://dime.jp/genre/1679274/>
- ・「民主党政権が検討した税と社会保障の共通番号 導入への賛否を問うと」(世論に見る平成の内閣43)『朝日新聞デジタル』2023.11.24. 05:00.
<https://www.asahi.com/articles/ASRCN45P6RCJUJPS001.html>
- ・鈴木淳也「暗証番号を設定不要なマイナンバーカードと 2026 年の新カード」(鈴木淳也の Pay Attention

第 199 回) 『Impress Watch』2023.11.29. 08:20.

<https://www.watch.impress.co.jp/docs/series/suzukij/1550137.html>

マイナンバーカードで図書貸し出し

・「山口市立図書館マイナカードで本貸し出し OK 県内初、スマホ活用も開始」『山口新聞』2023.11.12. 06:00. <https://yama.minato-yamaguchi.co.jp/e-yama/articles/66111>

・「マイナンバーカードで本貸し出し OK 唐津市の図書館で 2024 年 1 月から 佐賀県内初」『佐賀新聞』2023.11.30. 21:07. <https://www.saga-s.co.jp/articles/-/1151933>

・「【茨城県五霞町】全国初、完全オンラインを実現!! 五霞町電子図書館サービスが 12 月 1 日午後 1 時スタート」『PR TIMES』2023.11.30. 13:00.

<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000006.000127418.html>

・「五霞町(茨城県)、「五霞町電子図書館」を開設:同町在住・在勤・在学者に対し利用開始手続から全てのサービスを完全オンライン化」『カレントアウェアネス-R』2023.12.04.

<https://current.ndl.go.jp/car/201489>

個人情報の利用/教育データ

・「子どもの心、データで可視化 学校、自殺・いじめ予防 個人情報、扱いに課題」『朝日新聞デジタル』2023.11.05. 05:00. <https://www.asahi.com/articles/DA3S15785020.html>

・「欠席予測、支援必要な子は…活用進む教育データ、個人情報保護に懸念」『朝日新聞デジタル』2023.11.11. 13:00. <https://www.asahi.com/articles/ASRC865ZSRB6ULLI001.html>

・「子どもの心、データで見る意味は サイトの閲覧履歴や検索数を可視化」『朝日新聞デジタル』2023.11.12. 10:00. <https://www.asahi.com/articles/ASRC865WSRB5ULLI006.html>

[さいたま市や東京都でも導入へ/専門家「日常的なデータ収集は子どもたちのストレスとなる」]

表現の自由/報道の自由

・「報道のコスト、誰が負担? 「ただ乗り」で取材者がいなくなる懸念」『朝日新聞デジタル』2023.11.08. 09:00. <https://www.asahi.com/articles/ASRC74DB0RC6UTIL00B.html>

・池上彰「なぜ日本の報道の自由度は低い? 池上彰が語る「監視されるメディア」の実態」『PHP online』2023.11.09. <https://shuchi.php.co.jp/article/10644>

[※池上彰著『池上彰の日本現代史集中講義』(祥伝社)より一部抜粋・編集したもの/メディアへの監視を強めた/日本の「報道の自由度」G7で最下位/ネットメディアの台頭]

・「あなたの街の議会、数の論理で物事決めてませんか 志田陽子氏の願い」『朝日新聞デジタル』2023.11.11. 14:00. <https://www.asahi.com/articles/ASRC74FM6RC6PTLC01K.html>

[香川県議会は、県議らの海外視察について批判してきた県議に対し、議場での発言削除を求める動議や問責決議案を可決してきた。これらの議会の対応については、識者から「言論統制と言われても仕方がない」との声も上がる。/「政治的発言の自由」手厚く保護を/なぜ「特権」が必要なのか/香川県議会「自律権の濫用」]

・「SNS、言論の自由に適さず コラムニスト ジェマイマ・ケリー」『日本経済新聞』2023.11.20. 02:00. <https://www.nikkei.com/article/DGKKZ076204250X11C23A1TCS000/>

・「米大学、中東情勢巡り波紋 学生団体規制の一方、表現の自由に懸念も」『朝日新聞デジタル』2023.11.20. 10:00. <https://www.asahi.com/articles/ASRCK2D6JRCHUHBIO1B.html>

・「弱る報道の持続可能性、行き着く先は 「記者は自分の言葉で説明をを」」『朝日新聞デジタル』2023.11.27. 06:00. <https://www.asahi.com/articles/ASRCT7QGNCQUTIL01G.html>

[関西大の水谷瑛嗣郎准教授(メディア法)に聞きました。]

・「「ネット自由度」最下位の中国、インフルエンサーに実名投稿義務付けの動き…政府規制さらに強まる」『読売新聞オンライン』2023.11.28. 20:19.

<https://www.yomiuri.co.jp/world/20231128-0YT1T50169/>

・「ロシア、外国人の発言に制限検討 入国時に承諾書署名も」『DIAMOND online』2023.11.30. 09:12.

<https://diamond.jp/articles/-/333274>

[The Wall Street Journal 発]

生成 AI / ChatGPT

- ・「AI ガイドライン、「人間中心」など 10 原則を年内決定方針…公的機関含め全利用者が対象」『読売新聞オンライン』2023.11.08. 05:00. <https://www.yomiuri.co.jp/politics/20231107-0YT1T50308/>
- ・玄忠雄 「生成 AI の学習に政府保有データを提供へ、国会図書館の蔵書や国の研究データも対象」『日経 XTECH』2023.11.08. <https://xtech.nikkei.com/atcl/nxt/news/18/16244/>
[政府の「AI 戦略会議」は 2023 年 11 月 7 日、政府や公的機関が保有するデータを国内の AI 開発企業に提供する枠組みを決めた。]
- ・「生成 AI 指針、罰則盛らず 政府、開発・利用を促進」『JIIJ.COM』2023.11.25. 07:03.
<https://www.jiji.com/jc/article?k=2023112400898&g=eco>
- ・「ChatGPT 公開から 1 年 誤情報拡散などのリスク対応が課題」『NHK NEWS WEB』2023.11.30. 16:43.
<https://www3.nhk.or.jp/news/html/20231130/k10014271951000.html>

フェイクニュース

- ・「ニュースを装う偽動画 AI 悪用に感度高めたい」『毎日新聞』2023.11.12.
<https://mainichi.jp/articles/20231112/dm/005/070/057000c>
- ・「「ディープフェイク」が米大統領選を左右する!? どうする GAFAM」『日経 XTREND』2023.11.28.
<https://xtrend.nikkei.com/atcl/contents/18/00079/00230/>
- ・(コラム)「自由民主主義を脅かす「偽物の」フェイクニュース」『ハンギョレ』2023.11.28. 06:30.
<http://japan.hani.co.kr/arti/opinion/48502.html>
- ・(社説)「偽動画と選挙 民主主義守る仕組みを」『東京新聞 TOKYO Web』2023.11.29. 07:58.
<https://www.tokyo-np.co.jp/article/292873>

ハイトスピーチ

- ・「相模原市 ハイトスピーチを禁止する条例案 内容と経緯は」首都圏 NEWSWEB 『NHK NEWS WEB』2023.11.14. 18:59. <https://www3.nhk.or.jp/shutoken-news/20231114/1000099133.html>
- ・「相模原市 障害者等へのハイトスピーチ禁止条例制定へ」首都圏ナビ かながわ情報羅針盤 『NHK』2023.11.16. <https://www.nhk.or.jp/shutoken/yokohama/article/017/31/>
- ・「ガザ情勢めぐりハイトスピーチ、旧ツイッターで 98%が削除されず放置…国際 NPO 調査」『読売新聞オンライン』2023.11.15. 11:55. <https://www.yomiuri.co.jp/economy/20231115-0YT1T50071/>
- ・「杉田水脈氏「在日ハイトも言論」「意見尊重を」と投稿」『共同通信』2023.11.15.
<https://nordot.app/1097431136442041196>
- ・(社説)「杉田氏の発言 放置が差別を助長する」『北海道新聞』2023.11.29. 05:00.
<https://www.hokkaido-np.co.jp/article/946382/>

ネット中傷

- ・(社説)「元ジャニーズ男性死亡 中傷許さぬネット社会に」『毎日新聞』2023.11.20.
<https://mainichi.jp/articles/20231120/dm/005/070/013000c>
- ・「誹謗中傷の迅速削除、SNS 事業者に要請 総務省会議案」『日本経済新聞』2023.11.21. 19:27.
<https://www.nikkei.com/article/DGXZQ0UA213QE0R21C23A1000000/>
- ・(社説)「ネット上の中傷 なくす手だて、社会全体で」『信濃毎日新聞デジタル』2023.11.21. 09:30.
<https://www.shinmai.co.jp/news/article/CNTS2023112100031>
- ・「“ネット上のひぼう中傷 1 週間程度で対応を” 総務省が骨子案」『NHK NEWS WEB』2023.11.21. 17:49.
<https://www3.nhk.or.jp/news/html/20231121/k10014264741000.html>
- ・「事業者任せの中傷対策は変わるか 「問題投稿自体されにくい環境を」」『朝日新聞デジタル』2023.11.28. 19:35. <https://www.asahi.com/articles/ASRCX6581RCXULFA00X.html>
[京都大大学院の曾我部真裕教授(憲法学)に聞いた。]

- ・「ネット誹謗中傷「1 週間程度で対応を」 総務省会議が事業者に求める」『朝日新聞デジタル』2023.11.28. 19:38. <https://digital.asahi.com/articles/ASRCX64WWRCXULFA01M.html>
[焦点だった「削除請求権」の明文化は見送り／誹謗（ひぼう）中傷対策の骨子]

2023 年 12 月

- ・鈴木崇文（こらむ図書館の自由）「認知症が増加する社会における図書館」『図書館雑誌』vol.117, no.12, 2023.12, p.731. <https://www.jla.or.jp/committees/jiyu/tabid/640/default.aspx#202312>
- ・「滋賀県立図書館「100 万冊」貸し出し停止へ 「いかんともしがたい」事情とは?」『京都新聞』2023.12.02. 06:00. <https://www.kyoto-np.co.jp/articles/-/1158198>
- ・「「一者随契」で商品購入 74 件、広島県立高 赤木かん子氏関連業者から本やシール、カエルのぬいぐるみも 広島県教委の図書館リニューアル事業」『中国新聞デジタル』2023.12.11. <https://www.chugoku-np.co.jp/articles/-/396326>
- ・田玉恵美（多事奏論）「世界遺産めざす佐渡金山 資料の有無すら言えぬとは」『朝日新聞デジタル』2023.12.02. 05:00. <https://digital.asahi.com/articles/DA3S15807123.html>
- ・（インタビュー）「悲劇の記憶、残す意味は 映画監督、クリスティアン・クレーネスさん」『朝日新聞デジタル』2023.12.02. 05:00. <https://digital.asahi.com/articles/DA3S15807122.html>
- ・「図書館でのよりよい医療情報提供のあり方を考える〈報告〉」『カレントアウェアネス-E』No. 470, 2023.12.14. <https://current.ndl.go.jp/e2656>
- ・【プレスリリース】「訃報 石塚栄二 名誉教授 逝去」『帝塚山大学』2023.12.28. <https://www.tezukayama-u.ac.jp/news/2023/34249/>
- ・「石塚栄二さん死去 帝塚山大名誉教授、図書館学・出版学」『東京新聞 TOKYO Web』2023.12.30. <https://www.tokyo-np.co.jp/article/298970>

表現の自由

- ・「香港「リンゴ日報」創業者・黎智英氏の公判始まる 米英の釈放求める声明に、中国「つべこべ言うな」」『東京新聞 TOKYO Web』2023.12.08. 21:01. <https://www.tokyo-np.co.jp/article/296764>
- ・「ヘイトスピーチを刑事罰に アイルランド首相が進める言論統制」『courrier.jp』2023.12.08. <https://courrier.jp/news/archives/346490/>
- ・（社説）「100 力所超土地規制へ 法の廃止を強く求める」『琉球新報』2023.12.17. 05:00. <https://ryukyushimpo.jp/editorial/entry-2590994.html>
- ・「パレスチナ支持の投稿、FB などで「組織的に検閲」 人権団体が指摘」『朝日新聞デジタル』2023.12.22. 05:00. <https://www.asahi.com/articles/ASRDQOHTCRDPUHBI039.html>
- ・喜園尚史（記者解説）「特定秘密と知る権利 情報内容不明、難しい報道の公益証明」『朝日新聞デジタル』2023.12.25. 05:00. <https://digital.asahi.com/articles/DA3S15824524.html>
- ・（社説）「偽情報の拡散 国際対策でかく乱すな」『西日本新聞 me』2023.12.28. 06:00. <https://www.nishinippon.co.jp/item/n/1162174/>
- ・「韓国最高裁で「逆転無罪」判決、名誉毀損罪に問われた『帝国の慰安婦』の著者・朴裕河氏に聞いた「学術的な議論を刑事裁判に問うのはおかしい」」『47NEWS』2023.12.31. 10:00. <https://nordot.app/1111845469180216057>

表現の自由／福岡県ラジオ番組削除要請

- ・「ラジオ番組削除要請は「表現の自由侵害」 福岡県弁護士会が県に勧告」『毎日新聞』2023.12.14. 18:36. <https://mainichi.jp/articles/20231214/k00/00m/040/261000c>
- ・「「強制連行」削除要求は表現の自由侵害と県に勧告 ラジオ発言で福岡弁護士会」『産経新聞』2023.12.14. 19:17 <https://www.sankei.com/article/20231214-JW3JER5EL5PGVH605AVZHKL7RA/>
- ・「「表現の自由を侵害」弁護士会が福岡県に勧告 ラジオ番組に削除要請」『朝日新聞デジタル』2023.12.14. 20:51. <https://www.asahi.com/articles/ASRDG62KCRDGTIPE004.html>
- ・「福岡県、委託した人権啓発ラジオ番組の発言を削除要請…「人権侵害」と県弁護士会が勧告」『読売

新聞オンライン』2023.12.15. 13:20.

<https://www.yomiuri.co.jp/local/kyushu/news/20231215-0YTNT50043/>

生成 AI

- ・「「ChatGPT」から個人情報含む学習データの抽出に成功--Google DeepMind 研究者ら」『CNET Japan』2023.12.09. <https://japan.cnet.com/article/35212333/>
- ・「偽情報対策など 25 項目検証 AI 開発点検リスト判明」『東京新聞 TOKYO Web』2023.12.16. 21:01. <https://www.tokyo-np.co.jp/article/296488>
- ・「「人間中心」など 10 原則 事業者向け AI ガイドライン案判明」『朝日新聞デジタル』2023.12.20. 05:00. <https://www.asahi.com/articles/ASRDM6GZHRDMULFA002.html>
- ・「AI 学習「特定作品の出力目的は著作権侵害の恐れ」 文化庁素案」『毎日新聞』2023.12.20. 20:30. <https://mainichi.jp/articles/20231220/k00/00m/040/284000c>
- ・「AI のコンテンツ学習、著作権侵害の場合も 文化庁が法解釈の素案」『朝日新聞デジタル』2023.12.20. 21:33. <https://www.asahi.com/articles/ASRDN737DRDNUCVL029.html>
- ・「生成 AI、権利侵害恐れも 著作権法運用「再整理」」『共同通信』2023.12.20. <https://nordot.app/1110139200862536472>

ネット中傷

- ・「“心の殺人” ネット上の誹謗中傷 問題投稿の削除難しく… 対策は」『テレ朝 news』2023.12.02. https://news.tv-asahi.co.jp/news_society/articles/000326661.html
- ・「ユーチューブ日本代表、動画即刻全削除は「言論の自由萎縮のリスク伴う」」『読売新聞オンライン』2023.12.08. <https://www.yomiuri.co.jp/stream/article/22590/>
- ・（デジタルを問う 欧州からの報告）「ネットの闇から児童を守れ 規制を推進させた英国の父親の思い」『毎日新聞』2023.12.18. <https://mainichi.jp/articles/20231215/k00/00m/030/334000c>
- ・（デジタルを問う）「欧州からの報告 規制が招く大量監視（その 1） 児童性的虐待、ネットで深刻化」『毎日新聞』2023.12.27. <https://mainichi.jp/articles/20231227/ddm/001/040/104000c>
- ・（デジタルを問う）「欧州からの報告 規制が招く大量監視（その 2 止） AI 開発企業、欧州委に接近」『毎日新聞』2023.12.27. <https://mainichi.jp/articles/20231227/ddm/003/040/089000c>

ハイトスピーチ

- ・「相模原市人権条例案 相次ぐ骨子見直し要請「答申に沿って」／神奈川」『毎日新聞』2023.12.09. <https://mainichi.jp/articles/20231209/dcl/k14/010/114000c>
- ・「相模原市人権条例案、答申後退「根拠見いだし難い」 奈須祐治教授に聞く」『カナコロ 神奈川新聞』2023.12.10. <https://www.kanaloco.jp/news/social/article-1041222.html>
- ・「「残念な」相模原市人権条例案になってしまうのか…林陽子弁護士が語る「包括的差別法」のススメ」『東京新聞 TOKYO Web』2023.12.18. 12:00. <https://www.tokyo-np.co.jp/article/296627>

個人情報の利用／流出

- ・「攻めのデータ活用の前に知りたい「炎上」対策」『日経 XTECH』2023.12.05～12.12.
 - 第 1 回「そのデータ活用は社会から納得が得られるか、始める前に検証しよう」
<https://xtech.nikkei.com/atcl/nxt/column/18/02669/113000001/>
 - 第 2 回「これなら AI カメラを使って大丈夫」、加古川市がチェックリストで事前に精査
<https://xtech.nikkei.com/atcl/nxt/column/18/02669/120100002/>
 - 第 3 回「生成 AI 利用の「つまずきポイント」は正当性と説明責任」
<https://xtech.nikkei.com/atcl/nxt/column/18/02669/120100003/>
 - 第 4 回「データ活用のリスクは消えない、全体を俯瞰して対策を」
<https://xtech.nikkei.com/atcl/nxt/column/18/02669/120100004/>
- ・「「政府クラウド」外資管理に「不安」4分の1、国産の育成に期待…121 自治体調査」『読売新聞オンライン』2023.12.05. 05:00. <https://www.yomiuri.co.jp/national/20231204-0YT1T50271/>

- ・「世界の個人情報流出、26億件 21～22年、クラウドが標的」『東京新聞 TOKYO Web』2023.12.08. 15:57. <https://www.tokyo-np.co.jp/article/294883>
- ・「世界の個人情報漏洩、2年で26億件 アップル「暗号化技術が重要」」『朝日新聞デジタル』2023.12.08. 01:00. <https://www.asahi.com/articles/ASRD75QGMRD7UHBI01F.html>
- ・「令状なしで通信監視、米FISA 702条延長のゆくえは?」『MIT Technology Review』2023.12.11. <https://www.technologyreview.jp/s/322548/a-controversial-us-surveillance-program-is-up-for-renewal-critics-are-speaking-out/>
- ・「ネット上の個人情報を消したい。「忘れられる権利」を求める声、EUから広がる」『IDEAS FOR GOOD』2023.12.14. <https://ideasforgood.jp/2023/12/14/right-to-be-forgotten/>
- ・「米国、子どもの個人情報保護強化 オンラインサービス事業者に対し」『共同通信』2023.12.21. <https://nordot.app/1110359509640266666>

個人情報の利用／顔識別カメラ／教育データ

- ・「社会に浸透する「顔識別カメラ」 企業は個人情報のグレーゾーンに“忖度”を」『マイナビニュース』2023.12.08. <https://news.mynavi.jp/techplus/article/20231208-2836123/>
- ・「大阪府箕面市の教育現場で「tomoLinks」を活用したデジタル庁実証調査研究を開始」『教育家庭新聞』2023.12.11. <https://www.kknews.co.jp/news/20231211003>

2024年1月

- ・蔵所和輝（こらむ図書館の自由）「マイナンバーカードの図書館カード化について」『図書館雑誌』vol.118, no.1, 2024.01, p.7. <https://www.jla.or.jp/committees/jiyu/tabid/640/default.aspx#202401>
- ・山口真也「戦争の当事者性は「図書館の自由」とどのように対立するのか?～「いま作り出すべきコンセンサス」とは何か?～」(特集 誌上対話:地域社会において公共図書館が荷うべき役割と責任)『図書館界』Vol.75, No5, 2024.01, p.301～306.
- ・「がん治療情報と「表現の自由」、ある図書館の模索 リロン編集部から」『朝日新聞デジタル』2024.01.14. 07:30. <https://www.asahi.com/articles/ASS1B2TVHS16ULLI001.html>
- ・「米・EveryLibrary、読む自由等を制限する2024年の法律等をまとめたページを公開」『カレントアウェアネス-R』2024.01.16. <https://current.ndl.go.jp/car/208871>
- ・「saveMLAK、「COVID-19の影響による図書館の動向調査(2024/01/17)」の結果を発表」『カレントアウェアネス-R』2024.01.22 <https://current.ndl.go.jp/car/209276>
- ・「草津町長への名誉毀損認定 電子書籍著者に有罪判決」『共同通信』2024.01.22. <https://nordot.app/1122078544743203528>
- ・「被差別部落のネット記事削除求め住民提訴 「差別されない権利侵害」」『朝日新聞デジタル』2024.01.25. 09:00. <https://www.asahi.com/articles/ASS1S6V5TS1SU0HB006.html>

秘密保護法／土地利用規制法

- ・「日弁連、秘密保護法制の拡大反対 知る権利の侵害懸念」『日本海新聞』2024.01.24. <https://www.nnn.co.jp/articles/-/225324>
- ・「経済安全保障分野にセキュリティ・クリアランス制度を導入し、厳罰を伴う秘密保護法制を拡大することに反対する意見書」『日本弁護士連合会』2024.01.18. <https://www.nichibenren.or.jp/document/opinion/year/2024/240118.html>
- ・「安保機密漏えいに懲役10年 身辺調査し資格判断、法制化へ」『中国新聞デジタル』2024.01.17. <https://www.chugoku-np.co.jp/articles/-/412724>
- ・「経済安保、機密漏洩に罰則 適格性評価で有識者提言」『日本経済新聞』2024.01.17. 18:30. <https://www.nikkei.com/article/DGXZQQUA174LA0X10C24A1000000/>
- ・「機密身辺調査、民間にも 経済安保「適性評価」 法案提出へ」『朝日新聞デジタル』2024.01.17. 18:35. <https://digital.asahi.com/articles/ASS1K61QGS1KULFA00Y.html>

- ・「「住民監視行うな」国に求めるよう要望 京丹後市の住民団体／土地利用規制法で米軍基地など区域指定候補に」『京都民報 web』2024.01.20.

<https://www.kyoto-minpo.net/archives/2024/01/20/post-29967.php>

表現の自由

- ・「「九条俳句」事件から 10 年 東京新聞「平和の俳句」と振り返る 12 日から浦和で展示、トークやビデオも」『東京新聞 TOKYO Web』2024.01.11. 07:47. <https://www.tokyo-np.co.jp/article/301975>
- ・瀬崎 真知子「国安法下の香港で独立書店が“言論・文化空間”として存在感」『週刊エコノミスト Online』2024.01.15. <https://weekly-economist.mainichi.jp/articles/20240130/se1/00m/020/044000c>
- ・「香港政府が「国家安全条例」制定に向け作業開始 言論統制を強化へ 2003 年にも検討 市民の反対で撤回」『TBS NEWS DIG』2024.01.30. 16:28. <https://newsdig.tbs.co.jp/articles/-/970559>

朝鮮人追悼碑の撤去

- ・朝鮮人追悼碑存続をのぞむアーティスト有志「要望書「群馬の森 朝鮮人追悼碑『記憶 反省そして友好』を残して下さい」」2024.01.24.

https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSdgrU6MD8tVc0_zbzP6YRr0_mKzzgcDvaJ9bbhkRTON8Njiow/viewform

- ・「群馬県の朝鮮人追悼碑の強制撤去に反対。アーティスト有志が要望書を群馬県に提出」『美術手帖』2024.01.26. <https://bijutsutecho.com/magazine/news/headline/28369>
- ・「朝鮮人追悼碑撤去 アーティストが中止求め要望書 2 日で 2 千人賛同」『朝日新聞デジタル』2024.01.26. 07:30. <https://www.asahi.com/articles/ASS1T6SDMS1SUHNB018.html>
- ・「朝鮮人追悼碑、撤去やめて アーティストらが要望書」『北海道新聞』2024.01.26. 18:37. <https://www.hokkaido-np.co.jp/article/967944/>
- ・「「追悼碑撤去は文化的なジェノサイド」 アーティスト有志が群馬県知事に代執行中止を求め要望」『上毛新聞』2024.01.27. 06:00. <https://www.jomo-news.co.jp/articles/-/410514>
- ・「群馬県立公園の朝鮮人追悼碑、29 日に撤去工事 中止求める声も」『毎日新聞』2024.01.27. 15:20. <https://mainichi.jp/articles/20240127/k00/00m/040/143000c>
- ・「日本市民団体「群馬県、朝鮮人追悼碑を撤去しないで…歴史に背を向ける蛮行」」『中央日報』2024.01.27. 10:20. <https://japanese.joins.com/JArticle/314318>
- ・「朝鮮人追悼碑 撤去撤回の要望相次ぐ 各種団体や政党が提出 あすから群馬県が代執行」『東京新聞 TOKYO Web』2024.01.28. <https://www.tokyo-np.co.jp/article/305730>
- ・「追悼碑、あす代執行着手 群馬の森、「撤去中止を」の声やまず /群馬」『毎日新聞』2024.01.28. <https://mainichi.jp/articles/20240128/ddl/k10/040/050000c>

生成 AI / SNS 規制

- ・（社説）「生成 AI 規制 民主主義を守るために」『東京新聞 TOKYO Web』2024.01.15. 07:52. <https://www.tokyo-np.co.jp/article/302893>
- ・「2024 年、データプライバシー と AI 規制法案はどう進むのか？ : 米国各州の対応状況」『DIGIDAY』2024.01.23. <https://digiday.jp/agencies/privacy-and-ai-policies-to-watch-in-2024/>
- ・「ソーシャルメディアは「有害物質」 NY で指定、規制の動きに反発も」『朝日新聞デジタル』2024.01.27. 18:00. <https://www.asahi.com/articles/ASS1W0J5LS1VUHBI00Q.html>

フェイクニュース

- ・「目にする全てが AI 由来かも…「ディープフェイク」にどう備えれば？ 笹原和俊・東工大准教授に聞く」『東京新聞 TOKYO Web』2024.01.02. 06:00. <https://www.tokyo-np.co.jp/article/298563>
[岸田首相もウクライナ侵攻も…/偽動画と好相性なのは「ポルノ」と「プロパガンダ」/プラットフォーム側も問われている/世界各国で進んだ「ルール作り」 2024 年は?]
- ・「SNS で偽情報拡散 送金催促や過去動画流用」『日本経済新聞』2024.01.03. 02:00. <https://www.nikkei.com/article/DGKKZ077402980T00C24A1NN1000/>
- ・「日本、地震発生のためにフェイクニュース拡大…「地震兵器」陰謀説も」『中央日報』2024.01.03.

11:55. <https://japanese.joins.com/JArticle/313378>

- ・「地震巡る SNS 偽情報、事業者に削除要請 官房長官「救助妨げ」」『毎日新聞』2024.01.05. 16:54.
<https://mainichi.jp/articles/20240105/k00/00m/010/170000c>
- ・「地震に関する SNS 偽・誤情報、削除念頭にグーグルなどに対応要請…総務相「犯罪にもつながりうる」」『読売新聞オンライン』2024.01.05. 21:16.
<https://www.yomiuri.co.jp/national/20240105-OYT1T50188/>
- ・「能登地震の偽投稿、総務省が X などプラットフォーム 4 社に対応要請」『朝日新聞デジタル』2024.01.06. 11:48. <https://www.asahi.com/articles/ASS163TF2S16ULFA002.html>
- ・「「能登半島地震」でも誤った SNS 情報拡散／真贋確認のため災害記録を一括保管する「アーカイブ」の重要性強調される 「アーカイブ」シンポジウム（東北大学 災害科学国際研究所）」『ミヤテレ』2024.01.08. 21:00. <https://news.ntv.co.jp/n/mmt/category/society/mma21ce52ae7464fa69974db92a87d54a9>
- ・「能登半島地震で露呈、イーロン・マスク氏体制「X」の課題 偽情報などで混乱」『産経新聞』2024.01.09. 18:28. <https://www.sankei.com/article/20240109-N6B5VTW4IRCBHFSUPYHDJU575A/>
- ・「災害大国なのにフェイクニュース規制の緩い日本——「能登半島地震の教訓」は活かせるか」『ニューズウィーク日本版』2024.01.11. 20:05. <https://www.newsweekjapan.jp/mutsuji/2024/01/post-192.php>
[事実に反する情報発信そのものを規制する法律のない日本。偽・誤情報の規制と表現の自由のバランスを保つ「難しさ」とは／体系的な取り締まりは難しい／表現の自由との兼ね合い／法的に禁じているのは 78 カ国／「外部からの干渉」に特化する先進国／「開かれた社会」の敵]
- ・「能登半島地震 SNS で偽情報 政府 有識者チーム設置し対策検討へ」『NHK NEW WEB』2024.01.17. 06:08
<https://www3.nhk.or.jp/news/html/20240117/k10014323831000.html>
- ・「地震の偽情報、削除や凍結 総務省、SNS 企業に詳細聴取へ」『東京新聞 TOKYO WEB』2024.01.19. 17:47. <https://www.tokyo-np.co.jp/article/303886>
- ・「災害時の偽情報 対策探る 日本、事業者要請どまり」『日本経済新聞』2024.01.24. 02:00.
<https://www.nikkei.com/article/DGKKZ077906970U4A120C2PD0000/>
- ・「災害時の SNS など偽情報対策の検討に着手 総務省が有識者会議」『毎日新聞』2024.01.25. 20:43.
<https://mainichi.jp/articles/20240125/k00/00m/020/246000c>
- ・「SNS の偽・誤情報、有識者会議で対策議論 被災地では偽の救助要請」『朝日新聞デジタル』2024.01.25. 20:07. <https://www.asahi.com/articles/ASS1T6K1ZS1TULFA01K.html>

ネット中傷

- ・「中傷防止へ情報開示要求 削除指針など、X やメタ念頭 政府、ネット被害深刻で」『日本経済新聞』2024.01.09. 02:00. <https://www.nikkei.com/article/DGKKZ077502210Z00C24A1MM8000/>
- ・（社説）「政府のネット中傷対策 社会全体で効果高めたい」『毎日新聞』2024.01.15.
<https://mainichi.jp/articles/20240115/ddm/005/070/026000c>
- ・「ネット上でのひぼう中傷めぐり 法改正案提出で調整へ 総務相」『NHK NEWS WEB』2024.01.16. 17:59.
<https://www3.nhk.or.jp/news/html/20240116/k10014323231000.html>
- ・「IT 企業 自主的に対応を ネット誹謗中傷巡り 総務省に新聞協会」『Pressnet 一般社団法人日本新聞協会』2024.01.17. https://www.pressnet.or.jp/news/headline/240117_15285.html
- ・一般社団法人日本新聞協会「総務省「プラットフォームサービスに関する研究会 第三次とりまとめ（案）」に対する意見」2024.01.17.
https://www.pressnet.or.jp/statement/broadcasting/240117_15283.html
- ・「「報道と中傷は異なる」 新聞協会、SNS 対策で」『日本経済新聞』2024.01.17.
<https://www.nikkei.com/article/DGXZQOUE179810X10C24A1000000/>
- ・「削除請求権明文化見送り「妥当」」『朝日新聞デジタル』2024.01.18. 05:00.
<https://www.asahi.com/articles/DA3S15841083.html>

ハイトスピーチ

- ・「「ハイト罰則なし」どう判断？ 相模原市人権条例案骨子 意見公募、きょうまで / 神奈川」『毎日

新聞』2024.01.09. <https://mainichi.jp/articles/20240109/dtl/k14/010/055000c>

・「相模原市において、審議会答申を前提に、実効性ある「相模原市人権尊重のまちづくり条例」の制定を求める常議員会議決議」『神奈川県弁護士会』2024.01.18.

<https://www.kanaben.or.jp/profile/gaiyou/statement/2023/post-430.html>

・「「最長 7 年以上」ヘイト認定に長期化の壁、「表現の自由」見極め困難…抑止条例全国初制定の大阪市」『読売新聞オンライン』2024.01.24. 08:27.

<https://www.yomiuri.co.jp/national/20240124-0YT1T50034/> <https://archive.is/awFgb>

個人情報利用／災害時

・「能登半島地震 安否不明者公表 石川県 55 時間後」『毎日新聞』2024.01.05.

<https://mainichi.jp/articles/20240105/ddm/041/040/089000c>

・「石川県、地震の死者名を「遺族の同意を得て」公表へ 非公表になっていた理由は？ 都道府県で分かれる対応」『東京新聞 TOKYO Web』2024.01.14. 18:46. <https://www.tokyo-np.co.jp/article/302790>

・「被災時の安否不明者氏名公表進む 家族の同意不要、捜索活動を加速 静岡県、能登地震対応注視」(いのちを守る・防災しずおか)『あなたの静岡新聞』2024.01.14.

<https://www.at-s.com/news/article/shizuoka/1392660.html>

・「災害時の死者氏名公表、遺族同意は必要か？ 国に指針求める声も」『京都新聞』2024.01.17. 19:00.

<https://www.kyoto-np.co.jp/articles/-/1185981>

・「死者名 東海 3 県は遺族の同意前提で氏名公表の方針」(岐阜 NEWS WEB)『NHK NEWS WEB』2024.01.19. 16:10. <https://www3.nhk.or.jp/lnews/gifu/20240119/3080012820.html>

個人情報利用／流出

・「2023 年の「個人情報漏えい・紛失事故」が年間最多 件数 175 件、流出・紛失情報も最多の 4,090 万人分」『東京商工リサーチ』2024.01.19. https://www.tsr-net.co.jp/data/detail/1198311_1527.html

・「韓国政府、個人の健康情報を民間業者へ伝送する法制定推進…プライバシー侵害の懸念も」『ハンギョレ』2024.01.31. 09:00. <https://japan.hani.co.kr/arti/politics/49045.html>

個人情報利用／顔認識

・和田崇「人権か、経済か。「顔認識」が AI 法案で最大の争点となった舞台裏」『Laboro.AI』2024.01.08.

<https://laboro.ai/activity/column/laboro/ai-law-face-recognition/>

個人情報利用／教育データ

・「教育データ利活用「留意事項」改訂へ 文科省、事例編を追加」『教育新聞』2024.01.15.

<https://www.kyobun.co.jp/article/2023011505>

マイナンバーカード／FeliCa 対応 IC カードを図書館カードに

・「マイナンバーカードや FeliCa 対応 IC カードを図書利用券として使用できます」『裾野市』2024.01.15.

<https://www.city.susono.shizuoka.jp/kosodate/18675.html>

・「茅ヶ崎市立図書館 スマホ等で貸出可能に 本館ではセルフ貸出も」(茅ヶ崎版)『タウンニュース』2024.01.26. <https://www.townnews.co.jp/0603/2024/01/26/717376.html>

3. 文献紹介

○馬場俊明著『「読書の自由」を奪うのは誰か 「自由宣言」と蔵書選択』

青弓社 2023 年 11 月刊 19cm 238p 2,600 円 (税別) ISBN987-4-7872-0085-3

参考 URL <https://www.seikyusha.co.jp/bd/isbn/9784787200853/>

本書は、「図書館の自由」侵害事件に関する論考 3 件を収録する。その 3 件とは、「図書館の自由に関する宣言 1979 年改訂」の契機となった県立山口図書館蔵書隠匿事件 (1973 年) と富山県立図書館『図録』

事件(1986年)、船橋市西図書館蔵書破棄事件(2001年)である。これらの事件はいずれも国家や警察権力など公権力の介入によって引き起こされたのではなく、図書館・図書館員自らが犯したものだ。3件の詳細を記したこの本は、図書館の使命について深く語りかけてくる。

著者は、1987年から2000年度まで日本図書館協会図書館の自由に関する調査委員会委員、1993年からは近畿地区小委員長を務めた。

【目次】

はじめに

第1章 蔵書選択における自主規制——県立山口図書館蔵書隠匿事件を考える

1 戦後民主主義の転換期——一九六八—七三年／2 県立山口図書館蔵書隠匿事件とは／3 「隠された蔵書」と内部告発者／4 県立山口図書館の光と影——小松原訓令／5 「中立性」と「公序良俗」／6 「不当でない検閲」と「自主規制という名の検閲」／7 問われる県立山口図書館と日本図書館協会の対応

第2章 自主規制という名の検閲——富山県立図書館『図録』事件を通して

1 富山県立図書館『図録』事件とは何か／2 検閲と図書館の闘い／3 「自主規制という名の検閲」の原型

第3章 思想の寛容がなければ図書館の自由は守れない——船橋市西図書館蔵書廃棄事件

1 船橋市立図書館事件の概要と事実経過／2 図書館界の危機感／3 船橋市立図書館事件と図書館裁判
4 図書館裁判と公立図書館の思想性

[資料1] 「図書館の自由に関する宣言」／[資料2] アメリカ図書館協会「図書館の権利宣言」／

[資料3] 船橋市西図書館除籍図書リスト／[資料4] 最高裁判所判決文

あとがき

4. おしらせ (講座や集会のお知らせは、終了したのもも記録のために掲載しています)

○図書館の自由展示パネル「なんでも読める 自由に読める!？」—2023年10月改訂—利用案内

図書館の自由委員会では、「図書館の自由」にかかわるさまざまな資料をわかりやすく提示する展示パネル「なんでも読める 自由に読める!？」を作成しています。2023年10月に、新型コロナパンデミックと図書館の自由、2019年策定「デジタルネットワーク環境における図書館利用のプライバシー保護ガイドライン」についてなど最近の課題を追加し、全15枚に改訂しました。

無料で貸出していますのでどうぞご利用ください。会場での配布用に、展示資料目録と解説のついたリーフレットの原稿もご用意しています。

使用料は無料ですが、片道の送料をご負担ください。170サイズ1個口で、送料は地域・宅配会社によって3,000円から4,000円程度となります。

詳細 URL : <https://www.jla.or.jp/committees/jiyu/tabid/686/Default.aspx>

◆パネルの概要

B2横(51×72cm)15枚 アルミフレーム入り

<内容>

- 1 展示パネルの趣旨・略年表
- 2 図書館の自由に関する普及活動
- 3 戦中・戦前 検閲と思想善導
- 4 自主規制をのりこえるきっかけとなった事件
- 5 資料収集の自由を守る—収集を阻害するもの
- 6 資料収集の自由を守る—人権と差別
- 7 資料収集の自由を守る—少年事件報道 制限から提供へ
- 8 資料提供の自由を守る—青少年条例と有害図書規制
- 9 子どもたちの読書の自由
- 10 利用者の秘密を守る—捜査機関・報道機関からの照会

- 11 利用者の秘密を守るーネットワーク時代の問題
- 12 フィクションの中で誤解される図書館像
- 13 新型コロナのパンデミックと図書館の自由
- 14 公立図書館に対し公平で中立なサービスを求める裁判
- 15 条例や規程に見る図書館の自由の精神

◆展示パネル解説リーフレット

委員会で用意した「リーフレット (A3 両面印刷二つ折り)」があります。
本誌末尾に掲載しましたが、次の URL からダウンロードできます。

<https://www.jla.or.jp/Portals/0/data/iinkai/jiyu/panellief2023.pdf>

◆問合せ・申込先日本図書館協会図書館の自由委員会事務局

電話 03-3523-0814 FAX03-3523-0841 jiyu@jla.or.jp

○カメラで追跡されるのはゴメンだ！ 顔識別カメラシステムに反対する院内集会

とき：2023 年 11 月 24 日 (金) 12 時～14 時 ところ：衆議院第一議員会館第 6 会議室

主催：顔識別カメラシステムに反対する市民団体共同声明

内容：報告 市民団体共同声明について

講演 武藤糾明さん (弁護士) 「プライバシーと顔識別カメラシステム」 (仮)

参照 URL：<http://www.bango-iranai.net/event/eventView.php?n=355>

ライブ配信：<https://youtube.com/live/bBfEM01uulk?feature=share>

○エンターテインメントロイヤー&プロデューサー・四宮隆史先生と考える判例研究 CASE1～表現の自由～

日時：2024 年 1 月 29 日 (月) 19:00～20:00 場所：オンライン開催

登壇者：四宮 隆史 (しのみや・たかし) 氏 / 慶應大学経済学部卒。TV ディレクターとして勤務した後、司法試験を受験し 2003 年に弁護士登録。現在、E&R 総合法律会計事務所の代表弁護士として映画、音楽、放送、広告等の各種プロジェクトのリーガルアドバイザーを務める一方、脚本家・福田靖 (『HERO』『ガリレオ』『龍馬伝』等)、映画監督・深田晃司 (『淵に立つ』等) らを擁するエージェント会社、株式会社 CRG (Creative Guardian) を創設し、映画・ドラマの企画製作にも携わる。非営利団体「action4cinema」(共同代表・是枝裕和、諏訪敦彦) の事務局長として映像業界の労働環境保全やスタッフ・クリエイターの権利保護等のための提言や活動も行っている。▼E&R 総合法律会計事務所 | 恵比寿のエンターテインメント・著作権・弁護士相談 (er-law.biz)：<https://www.er-law.biz/>

対象：エンターテインメント業界で活動する方・映像、放送業界をめざしている方・クリエイターの方
参加費：無料 定員：60 名

詳細 URL：<https://www.creativevillage.ne.jp/category/event-list/seminar/144285/?rsls>

○図書館総合展 2022 ポスターセッション「図書館利用のプライバシー保護について学ぼう！」

図書館の自由委員会サイトでは 2021 年度出展の解説動画もあわせて視聴いただけます。

<http://www.jla.or.jp/committees/jiyu/tabid/952/Default.aspx>

○『図書館の自由』121 号 (2023 年 11 月) を発行

『JLA メールマガジン』1159 号 2023.11.22 発信

<https://www.jla.or.jp//tabid/262/Default.aspx?itemid=6692> より転載

日本図書館協会図書館の自由委員会は、ニューズレター『図書館の自由』121 号 (2023 年 11 月) を発行し、委員会サイトに掲載した。<http://www.jla.or.jp/committees/jiyu/tabid/638/Default.aspx>

主な内容は以下のとおり。

- ・第 109 回全国図書館大会岩手大会へのお誘い

第 7 分科会 図書館の自由 テーマ：戦争と図書館 / 基調報告「図書館の自由・この 1 年」

- ・自由宣言のある風景 北茨城市立図書館 (茨城県) / 須賀川市中央図書館 (福島県)
- ・立命館大学平井嘉一郎記念図書館における焚書と検閲の歴史についての展示

- ・ 図書館の自由・表現の自由をめぐる記事紹介
 - (1) マイナンバーカードを活用した電子図書館サービス
 - (2) 『テロと産廃 御嵩町騒動の顛末とその波紋』をめぐる
 - (3) 米国の検閲・禁書
 - (4) 被差別部落の地名公開

・ 新聞・雑誌記事スクラップ／おしらせ

なお、本紙はダウンロードして図書館等で印刷して提供できます。メールでの無料配信を希望する方は、本誌電子版の案内よりお申込みください。

<http://www.jla.or.jp/committees/jiyu/tabid/679/Default.aspx>

○日本図書館協会図書館の自由委員会編『「図書館の自由に関する宣言 1979 年改訂」解説』第 3 版 日本図書館協会 2022 年 5 月刊 (施設 ABC 会員配付資料)

A5 230p 1500 円 (税別) ISBN978-4-8204-2202-0

<http://www.jla.or.jp/publications/tabid/87/pdid/p11-0000000590/Default.aspx>

18 年ぶりの大幅改訂，図書館の自由を豊富な資料で補強！

2004 年の第 2 版から 18 年，この間，図書館をめぐるあらゆる状況が変化してきました。本書はその変化を踏まえて，図書館運営の根本原則と言える「図書館の自由に関する宣言 1979 年改訂」を詳細に解説しています。あわせて，日本図書館協会の声明や見解，34 点に及ぶ関連法規の抄録，諸外国の基準も豊富に収録しました。図書館の自由にかかわる問題が起きたときに，本書が冷静に判断する一助となるでしょう。



【主な内容】

図書館の自由に関する宣言 1979 年改訂 (本文)

1. 宣言の採択・改訂とその後の展開

宣言の採択／図書館の自由の展開／自由委員会の成立と宣言改訂／宣言改訂以降の図書館の自由をめぐる問題 ほか

2. 宣言の解説

国民に対する約束／図書館員の職業倫理／知る自由と図書館の自由／知る自由と情報公開／あらゆる資料要求にこたえる／提供の自由とその制限／図書館が知りうる事実とプライバシー保護ガイドライン／図書館と検閲／国民の支持と協力 ほか

3. 資料編

〈日本図書館協会の基準・見解〉 図書館員の倫理綱領／差別的表現と批判された蔵書の提供について／デジタルネットワーク環境における図書館利用のプライバシー保護ガイドライン ほか

〈法令関連条文〉 情報公開法／公文書管理法／障害者差別解消法／刑法／特定秘密保護法／少年法／マイナンバー法 ほか

〈諸外国の基準〉 世界人権宣言／児童の権利に関する条約／ユネスコ公共図書館宣言／IFLA インターネット宣言 ほか

○『「図書館の自由に関する宣言 1979 年改訂」解説』第 3 版 正誤表 (2022 年 10 月 12 日更新)

<https://www.jla.or.jp/Portals/0/data/iinkai/出版委員会/List%20of%20errata-Intellectual%20Freedom%20rd%20ed.202210.pdf>

ページ・行	誤	正
p20 6 行目	進展とともに頻出し	進展とともに頻出し
p36 17 行目	提供制限をしながら	資料提供をしながら
p187 3 行目	1948 年 6 月 18 日	1939 年 6 月 19 日

○『『図書館年鑑』にみる「図書館の自由に関する宣言」2004 年から 2017 年のあゆみ』
日本図書館協会図書館の自由委員会編 2019.10 ¥3,000+税 ISBN978-4-8204-1908-2

○『図書館の自由に関する宣言 1979 年改訂のころ:塩見昇講演会記録集』
塩見昇著 日本図書館協会図書館の自由委員会編 (JLA Booklet No.3) 日本図書館協会 2018.10
ISBN978-4-8204-1810-8 ¥1,000+税

○塩見昇著『図書館の自由委員会の成立と「図書館の自由に関する宣言」改訂』
日本図書館協会 2017.12 ISBN978-4-8204-1712-5 ¥2,200+税

※協会へ注文されると個人会員の方は会員割引(定価の 2 割引)で購入できます。

○「図書館の自由に関する宣言」ポスター, はがき
・ポスター (B2 サイズ (515mm×728mm) 1 枚 700 円+送料・手数料 300 円
・はがき 10 枚 100 円+送料実費
・はがき 5 枚, 宣言小冊子 1 冊 (A7 サイズ 8p 中折三つ目とし) 100 円+送料実費

※問合・申込先:日本図書館協会図書館の自由委員会事務局
<http://www.jla.or.jp/committees/jiyu/tabid/682/default.aspx>

※上記サイトに掲載しているポスター・はがきの図柄は, 自由利用
(「プリントアウト・コピー・無料配布」OK) していただけます。
利用の際は必ず次のサイトをご確認下さい。 <http://www.bunka.go.jp/jiyuriyo/>
商業用でのご利用については, 上記事務局までご相談ください。



○図書館の自由委員会からのお知らせは, 協会 X (旧ツイッター) から提供しています。
#自由委員会をつけていますのでこちらもご活用ください。
日本図書館協会/JLA@JLA_information (https://twitter.com/JLA_information)

○『図書館の自由』ニューズレター 電子版配信案内
電子版(無料)配信希望者は, 受信を希望するメールアドレスから, 電子メールにてご連絡ください。
宛先:nljiyu@jla☆yahoo.co.jp (送信時に☆を@ (半角) に変えてください)
件名:「新規配信希望」としてください。
本文:個人の場合は「氏名・所属等(任意)」を, 団体の場合は「団体名・担当係(者)名」をご記入ください。
※受信希望アドレスから送信できない場合は, 本文中に受信希望アドレスをご記入ください。
※2 営業日以内に受領のご連絡をします, 返信のない場合はお手数ですが再度ご一報ください。
※読み上げソフト利用の都合などで word 形式をご希望の方はお知らせください。

本誌は, 図書館等で印刷して提供していただけます。

図書館の自由第 122 号 (2024 年 2 月)

編集・発行:公益社団法人日本図書館協会図書館の自由委員会 不定期刊
<http://www.jla.or.jp/committees/jiyu/tabid/182/default.aspx>

問合・連絡先:公益社団法人日本図書館協会図書館の自由委員会事務局
〒104-0033 東京都中央区新川 1-11-14
電話 (03) 3523-0814

Email nljiyu@jla☆yahoo.co.jp (送信時に☆を@ (半角) に変えてください)

これまでの目次 <http://www.jla.or.jp/committees/jiyu/tabid/638/default.aspx>

電子版購読費:無料

なんでも読める 自由に読める!?

展示パネル解説リーフレット

図書館の自由に関する宣言 1979年改訂

1954年5月、日本図書館協会は「図書館の自由に関する宣言」を総会で採択し、1979年にはその改訂が採択されました。

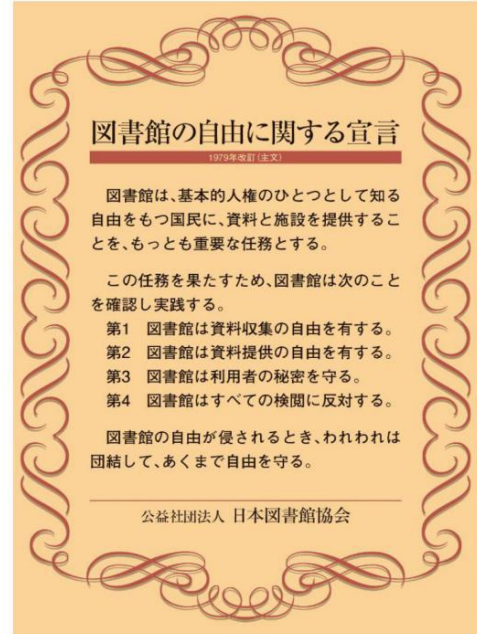
図書館は、だれもが日々の暮らしや仕事、学習、楽しみのために必要な資料を自由に入手し、利用できるようにする機関です。基本的人権としての国民の「知る自由」を保障することが図書館の重要な任務であり、また責任であることをこの「宣言」はひろく社会にアピールし、その実現に努めることを約束するものです。

近年、図書館をめぐる環境は大きく変化し、利用者の増加につれて社会との関わりも強くなっています。資料提供の自由と人権やプライバシーの保護とが真正面から対立するような事例がマスコミに大きく取り上げられ、図書館の自由への社会的関心が高まっています。そのため、図書館の自由の原則について、ひろく図書館の利用者や市民のみなさまに知っていただき、理解と認識を深めていきたいと考えています。



2010年3月(2023年10月改訂)

公益社団法人日本図書館協会
図書館の自由委員会



※パネル作成時(2009年)以降の大きな事例を加えて、2014年10月、2023年10月に改訂しました。

展示資料目録と解説

1 なんでも読める・自由に読める!?

- [1] 図書館の自由にかかわる略年表

2 図書館の自由に関する普及活動

- [1] 図書館の自由に関する宣言ポスター
- [2] 日本図書館協会刊行の図書館の自由に関する出版物
- [3] 『図書館戦争』有川浩著 アスキーメディアワークス 2006



3 戦前・戦中 検閲と思想善導

- [1] 「図書館事業ノ体制確立ニ関スル請願」1943年2月1日
・図書館雑誌(第37年第3号 1943年3月)
- [2] 東京市教育局社会教育課の保留指示文書 深川図書館(江東区)蔵
- [3] 東京市立深川図書館の『保留図書簿』深川図書館(江東区)蔵
- [4] 検閲された図書
・『蟹工船』小林多喜二著 改造文庫 1933 国立国会図書館蔵
- [5] 「スパイに注意せよ」の印
・『大阪府統計書 昭和14年度』国立国会図書館蔵

戦争に巻き込まれていった図書館の事例です。

当局からの検閲や閲覧停止を抵抗なく受け入れていた図書館の様子がうかがわれます。「図書館の自由に関する宣言」は、この時代の図書館の態度の反省から採択されました。

しかし、これらの資料は、図書館で保存されていたからこそ、現在こうして見ることができるのです。

4 自主規制をのりこえるきっかけとなった事件

- [1] 山口県立図書館図書抜き取り放置事件
 - ・「課長が特定図書隠す 県教組など教育長に抗搬」防長新聞 (1973年8月31日)
 - ・「社説 県教育行政の姿勢を問う」防長新聞 (1973年9月5日)
- [2] 広島県立図書館蔵書破棄事件
 - ・広島県教育委員会が県立図書館等に出した通知文
 - ・廃棄された49冊のリスト

山口県立図書館(1973年)、広島県立図書館(1984年)の特定の蔵書の隠ぺいと廃棄という二つの大きな事件は、図書館界が「図書館の自由に関する宣言」の日常実践に取り組むきっかけとなりました。

5 資料収集の自由を守る — 収集を阻害するもの

- [1] 『絶歌』元少年Aの手記 収集の萎縮
 - ・『絶歌—元少年Aの手記』太田出版 2015
- [2] 文部科学省、拉致問題関連書の充実要請
 - ・「北朝鮮当局による拉致問題に関する図書等の充実に係る御協力等について」文部科学省 (2022年8月30日発出)
- [3] 町政批判の本 町長が受入拒否
 - ・『テロと産廃 御嵩町騒動の顛末とその波紋』花伝社 2022

子どもへの悪影響、遺族感情を考慮するといった理由により、図書館での収集が萎縮するケースが生じています。

自立的な収集を阻害するものには、「収集してほしくない」という外部からの批判だけでなく「収集するべきだ」という組織的な圧力も含まれます。

6 資料提供の自由を守る — 人権と差別

- [1] 『ちびくろ・さんぼ』長野市の事例
 - ・『ちびくろ・さんぼ』岩波書店 1953
 - ・長野市が図書館などに出した通知文
 - ・「五輪招致で過剰反応『サンボ』廃棄の事情」朝日ジャーナル (1990年11月30日号)
- [2] 雑誌『クロワッサン』の差別表現
 - ・「横浜市立図書館 差別表現など取り外し 利用制限に異論続出」神奈川新聞 (2001年6月8日)
 - ・マガジンハウスからの通知文 (2001年7月) クロワッサン編集部
 - ・藤沢市の図書館だより (2001年3月)

人権や差別を助長するという外部からの要請で禁書や廃棄の指示に屈した事例です。

「図書館の自由に関する宣言」では、資料収集と提供の自由を掲げています。図書館は、社会的に話題になった資料を収集し提供することで市民の学ぶ自由を守るということを再認識させられた事件です。

残念ながら、この後も図書館の蔵書に対して、資料を特定した排除要請が時々おきています。

7 資料提供の自由を守る — 少年事件報道 制限から提供へ

- [1] 神戸・児童連続殺人と少年実名報道
 - ・『フォーカス』新潮社刊 (1997年7月9日号)
 - ・「戸惑う県内図書館—淳君事件「週刊新潮」対応 分かれる閲覧」信濃毎日新聞 (1997年7月5日)
- [2] 1997年当時の日本図書館協会の見解
 - ・『フォーカス』(1997.7.9号)の少年法第61条に関わる 記事の取り扱いについて (見解) (1997年7月4日)
- [3] 論議深まり表現の自由が優先に
 - ・「名誉か表現の自由か」毎日新聞 (2000年3月1日)
 - ・「少年の実名報道容認 少年法「表現の自由」に優先せず」読売新聞 (2000年3月1日)
- [4] 図書館は提供するのが原則
 - ・NHKテレビ報道 (2007年5月28日) NHKホームページ

1997年、新潮社は少年法61条に反して『フォーカス』『週刊新潮』誌上で、事件を起こした少年の容貌・氏名を報道しました。このときマスコミは、図書館ではその資料を公開するの取扱いに注目しました。

その後、少年の実名報道を容認する司法判断が出され論議が深まっていきました。

2006年、日本図書館協会は1997年の見解を見直し、全国図書館大会や総会で論議のうえ「提供することを原則」とすることにしました。

8 資料提供の自由を守る — 青少年条例と有害図書規制

- [1] 広がる「有害図書」規制
 - ・「有害図書指定へ 完全自殺マニュアル 県児福審が答申」神奈川新聞 (1999年10月9日)
 - ・神奈川県有害図書指定通知
 - ・『タイ買春読本』データハウス 1994
 - ・「タイ買春読本 有害図書指定へ」毎日新聞 (1999年7月14日)
- [2] 「有害図書」の販売等の制限と図書館
 - ・「東京都健全育成条例の解説」東京都生活文化局婦人青少年部 1999年3月
 - ・「都、青少年条例を年度内改正へ 有害図書『自殺』も指定対象」東京新聞 (2000年7月1日)

青少年条例は法律が流通を規制しない図書類でも「性的感情を刺激」「粗暴性・残虐性を助長」という理由で「有害図書」を指定し、青少年への頒布を規制をしています。

多くの条例は、90年代の有害コミック規制運動や行き過ぎた商業主義批判を背景として、包括指定 (有害な描写が一定の基準以上あれば指定)、緊急指定 (審議会の諮問を省き知事が指定)、警察官の書店立ち入り調査、罰則など規制を強化。規制理由も「自殺助長」や「道義心を傷つける」「民主主義を否定する」など精神と内面へ領域を広げてきています。

9 子どもたちの読書の自由

- [1] 「としょかんのちかい」 学校図書館の試み
・岡山市小学校「としょかんのちかい」の掲示
- [2] 『はだしのゲン』 学校図書館の閲覧制限
・コミック版「はだしのゲン」 中沢啓治著 汐文社 1975
- [3] 学校図書館での『完全自殺マニュアル』の提供
・『完全自殺マニュアル』 太田出版 1993
・『ぼくたちの完全自殺マニュアル』 太田出版 1994

岡山市立のある小学校では、学校図書館が子どもたちへ読みたい本をきちんと提供することや読書の秘密を守ることなど図書館のはたらきについてわかりやすい言葉で説明しています。

『はだしのゲン』に対して市民から意見がだされましたが、特定の図書について批判したり推薦したりする陳情を採択しないと自治体が多かったようです。

10 利用者の秘密を守る — 捜査機関・報道機関からの照会

- [1] 国立国会図書館地下鉄サリン事件捜査利用記録照会・押収事件
・「50万人分データ押収 開会図書館の利用者情報」 朝日新聞 (1995年4月7日)
・「利用者の皆様へ(掲示)」 国立国会図書館 (平成7年6月20日)
- [2] 捜査事項照会に応じて利用者情報を提供
・「警察の図書利用照会多発」 しんぶん赤旗 (2021年2月8日)
- [3] 東金市立図書館 容疑者の利用事実を公開
・「図書館に幸満ちゃんと接点？漫画や少女本借りる」 千葉日報 (2008年12月10日)

「図書館の自由に関する宣言」1979年改訂で「図書館は利用者の秘密を守る」を加えました。

以前から図書館は利用者の読書傾向、利用記録(読書と利用の事実)を残さない貸出方式の導入をすすめてきました。

また、令状のない開示請求には応じないなどの認識をつくってきています。

11 利用者の秘密を守る — ネットワーク時代の問題

- [1] プライバシー保護ガイドラインを公表
- [2] 三重県立図書館の利用者情報流出事件
・「13万人の情報 盗難 委託業者のパソコンごと」 毎日新聞 (2004年10月17日)
- [3] サイバー攻撃により利用者情報の流出が懸念
・「19万人分アクセス不能 図書館ランサム被害」 琉球新報 (2022年10月15日)
- [4] 岡崎市立中央図書館事件(Librahack事件)
・「個人情報流出 図書館システムに不具合」 日本経済新聞 (2010年12月1日)

急速なICTの進展に伴い、サイバー攻撃や人為的なミスによる個人情報の流出など、利用者のプライバシー保護をめぐる新しい問題が顕在化しています。

2019年、日本図書館協会は「デジタルネットワーク環境における図書館利用のプライバシー保護ガイドライン」を発表しました。

マイナンバーカードの図書館利用カード化の是非についても議論していく必要があります。

12 フィクションの中で誤解される図書館像

- [1] テレビアニメ「名探偵コナン」への申し入れ
・読書記録の残るニューアーク式のブックカード
・名探偵コナン申し入れ書 学校図書館問題研究会 (2007年3月1日)
- [2] 「相棒—第7話 夢を喰う女」テレビ朝日
・TVガイド 関東版 (2004年12月10日号)

アニメ映画『耳をすませば』でも図書カードに残された貸出者氏名がドラマ展開のカギになりました。

現在の図書館では、利用者の貸出記録を守ることとは市民の学ぶ自由を守ることに記録を残さないシステムを採用しています。

13 新型コロナのパンデミックと図書館の自由

- [1] 広がる利用制限と非来館型サービス
- [2] 来館記録の収集と利用者のプライバシー
・公立図書館での来館記録の収集状況の推移 (save MLAKの調査結果に基づき作成)
- [3] 体温測定カメラの廃棄をめぐって
・「検温カメラ 顔画像流出」 読売新聞 (2023年5月24日)

COVID-19のパンデミックの中で「不要不急の外出の自粛」が求められ、各地の図書館で臨時閉館や開館時間の短縮など日常的な利用が制限され、感染対策としての来館記録の収集も問題視されました。
新たな危機に備えてコロナ禍の取り組みを検証する必要があります。

14 公立図書館に対し公平で中立的なサービスを求める裁判

- [1] 船橋市船橋西図書館の蔵書破棄事件
・廃棄され損害賠償の対象となった図書のリスト
・「西部、渡部両氏の著書68冊 市立図書館が廃棄」 産経新聞 (2002年4月22日)
- [2] 熊取図書館の協力貸出申込み拒否事件
・「図書貸し出し拒否 熊取町側が敗訴 5万円支払命令」 読売新聞 (2007年6月17日)

船橋市西図書館の司書が「新しい歴史教科書をつくる会」関連の一連の図書を廃棄した事件は、図書館界に大きな衝撃を与えました。
最高裁は、公立図書館の職員が図書の廃棄について独断的な評価や個人的な好みによって不公正な取扱いをしたときは、基本的な職務上の義務に反し、著作者の人格的利益を侵害するものとして国家賠償法上違法、と原告勝訴の判決をだしました。

15 条例や規程に見る図書館の自由の精神

- [1] 図書館の自由を規程類に明確に表現
・「東村山市図書館設置条例」(昭和49年3月30日 条例第18号)
・「枚方市立図書館蔵書計画」(平成24年3月策定、令和3年5月改訂)
- [2] 市民・利用者からの図書館の再定義
・「私たちの図書館宣言」 図書館友の会全国連絡会 (2009.5.25総会決議、2012.5.22総会改訂)

図書館条例や規則、資料収集方針などの規程に決めることにより、市民に対して図書館は資料と施設を提供して、基本的人権である「知る自由」「知る権利」を保障する公共機関であることを表明しています。
図書館友の会全国連絡会では、市民からの図書館定義を採択しました。

図書館の自由にかかわる略年表

- 1954 「図書館の自由に関する宣言」採択
- 1967 練馬テレビ事件「特別機動捜査隊」のシナリオ訂正で、利用者の秘密保護への関心が高まる
- 1973 山口県立山口図書館は、反戦・平和図書等を書架から抜き取り放置（パネル4）
- 1974 東村山市立図書館設置条例で利用者の秘密を守る義務を規定（パネル15）
日本図書館協会「図書館の自由に関する調査委員会（現・図書館の自由委員会）」発足
- 1976 名古屋市立図書館で『ピノキオ』閲覧禁止
- 1979 「図書館の自由に関する宣言・1979年改訂」を採択
- 1981 愛知県立高校図書館で禁書 学校長が『窓ぎわのトットちゃん』などの購入を禁止
- 1983 品川区立図書館で区議が蔵書の偏向を指摘
- 1984 世田谷区議会で団体貸出用図書をめぐる論議
広島県立図書館で同和関係図書等を破棄（パネル4）
- 1986 富山県立図書館、図録『86富山の美術』利用制限
- 1988 『ちびくろ・さんぼ』絶版・利用制限相次ぐ
- 1990 長野市教育委員会が、『ちびくろ・さんぼ』の焼却を図書館、学校、幼稚園などに指示（パネル5）
- 1992 遠藤周作著『こんな治療法もある』絶版・回収
- 1994 テレビドラマ「びあの」で大阪府の図書館が貸出記録を開示するシーン放映
- 1995 地下鉄サリン事件捜査で警視庁が国立国会図書館の利用記録53万人分押収（パネル9）
- 1996 三重県立図書館で同和関係図書を閉架措置
- 1997 少年法61条を理由として雑誌『フォーカス』の利用制限相次ぐ（パネル7）
- 1999 『タイ買春読本』が静岡県で有害図書指定（パネル8）
- 2000 横浜市立図書館、雑誌『クロワッサン』に差別的な表現があるととして利用制限（パネル7）
- 2001 「東京都青少年の健全な育成に関する条例」が改定され性・暴力に加えて自殺も有害指定の範囲に（パネル7）
- 2002 船橋市西図書館蔵書廃棄事件発覚（パネル14）
- 2005 熊取町立図書館(大阪府)が除籍図書の取り寄せる協力貸出を拒否（パネル14）
- 2008 国立国会図書館児童ポルノ掲載の写真集の閲覧制限
堺市立図書館は『BL図書』を、市民の抗議で書庫入れを館長会で決定
厚生労働省が元厚生省職員名簿の閲覧自粛を全国の図書館に依頼
- 2010 岡崎市立図書館、不正アクセス事件で、サーバーへのアクセスログと特定利用者の情報を任意提出（パネル11）
- 2011 国立国会図書館出向外務省職員によるレファレンス情報漏えい発覚、再発防止策を国会に提出
『雑沓ヶ谷R.I.P.』著者が本の奥付で、図書館へ6か月間の貸出猶予を求める
- 2013 松江市教育委員会による小中学校図書館への『はだしのゲン』の書庫入れ指示が発覚（パネル9）
- 2014 東京都内の複数の図書館での『アンネの日記』と関連図書破損事件
- 2015 『絶歌：神戸連続児童殺傷事件』出版、収集の萎縮や提供制限も（パネル5）
『神戸新聞』に作家・村上春樹氏が在学時代に借りた本の図書カードが他の生徒の氏名とともに掲載
- 2016 「障害差別解消法」が施行、性同一性障害者等への配慮として、利用申込書の性別欄の廃止や通名使用が求められる
- 2017 苫小牧市立図書館が捜査関係事項照会に応じて特定個人の貸出・予約情報を提供（パネル10）
- 2019 日本図書館協会「デジタルネットワーク環境における図書館利用のプライバシー保護ガイドライン」を発表（パネル11）
- 2020 COVID-19のパンデミックにより、図書館の臨時休館・利用制限が広がる。来館者名簿の作成の是非も議論に（パネル14）
- 2021 土岐市立図書館にて利用禁止処分を受けた利用者が取消しを求めた裁判の控訴審判決
- 2022 町長発言を受けて『テロと産廃』一時受入保留に（パネル5）
旧統一教会問題への関心が高がり、関連団体からの寄贈資料を辞退する館も
文科省が拉致問題に関する図書の充実やテーマ展示を協力要請（パネル5）
サイバー攻撃により那覇市立図書館で貸出サービスが一時停止（パネル11）

●ご案内

日本図書館協会図書館の自由委員会では、「図書館の自由」についての研修、セミナーなどの企画、講師の派遣などのご相談にも応じております。お気軽にご連絡ください。

『図書館の自由』ニューズレター電子版（無料）年4回発行 申込み：nljiyu@yaho.co.jp

日本図書館協会・図書館の自由委員会事務局

〒104-0033 東京都中央区新川1-11-14 TEL 03-3523-0814 FAX 03-3523-0841